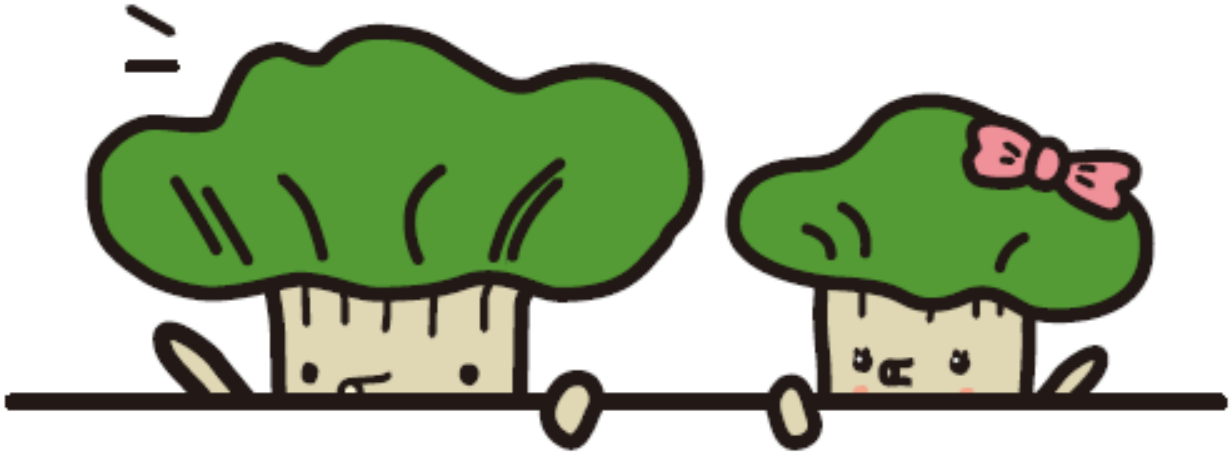
2021年度　第２四半期決算

決算概況と今後の事業展開について



つなぐを化学する

荒川化学工業株式会社

2021.11.29

目次

1 第５次中期５ヵ年経営実行計画について

2 決算概況と今期予想

3 セグメント別情報

4 事業と製品

5 サスティナビリティへの取り組み

参考資料

1　第５次中期５ヵ年経営実行計画について

第５次中期5ヵ年経営実行計画について

2021～2025年度

V-ACTION for sustainability

・Vector　方向・進路（サスティナビリティ）
・Variety　変化・多様性（中計最終時の姿）
・Vitality　活力（働きがいと生産性の向上）
・Value　価値（企業価値）
・Venture　冒険的事業（みつける）

人と事業の新陳代謝の深化、事業基盤の持続性を確保し、

持続可能な地球環境と社会を実現するための課題に取り組み、

付加価値・新規事業の創出、安全文化の醸成、および働きがいと生産性の向上を目指す

5つのKIZUNA/KIZUNA指標

■ 5つのKIZUNAとリンクした優先的な重要課題に対する指標を設定

■ 達成度に応じてポイント付与（目標ポイントを目指し「ありたい姿」へ）

☜詳細はクリック

KIZUNA指標詳細

【社会の軸】
まもる
60ポイント

事業活動にともなう**リスクと環境負荷を低減**することで、地域社会における**安全・安心をまもり**、持続可能な社会の実現に貢献する

安全レベルの向上に関する指標
CO_2排出量の削減など

【人の軸】
関わりあう
40ポイント

グローバル・**コミュニケーション**を通じて、各国の社会制度や文化の違いを認識し、適応しながら、事業の**グローバル化**を推進する

海外売上高伸長率
バイオマス度換算販売量指数など

【自身の軸】
主役になる
50ポイント

個人と会社がともに成長できる体制や施策を立案し、**働きがいと生産性の向上**を目指す

付加価値労働生産性
従業員満足度に関する指標など

【技術の軸】
技術の伝承と革新
50ポイント

マーケティング機能を強化し、**コア技術の醸成**と**事業ポートフォリオや生産体制を再構築**しながら事業の付加価値を高め、持続可能な成長を実現する

「そだてる」ミッション移行テーマ件数
サスティナビリティ製品の売上高指数など

【顧客の軸】
お客様と共に歩む
50ポイント

すべてのステークホルダーとの協働を通じて持続可能な成長の基盤の安定化を図る

利益に関する財務指標
品質クレーム削減率など

2　決算概況と今期予想

2021年度上期の実績

（百万円）

	2020年度 上期	2021年度 上期	上段：増減額 下段：増減率
売上高	32,220	39,667	7,446 23.1%
営業利益	969	2,475	1,506 155.3%
経常利益	1,167	2,571	1,404 120.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	710	1,733	1,022 143.9%
EBITDA	2,519	3,938	1,418 56.3%

■2021年度上期：2021年4月～2021年9月の累計
■EBITDA：償却前営業利益＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却額＋開業費償却額

連結業績と今期予想

上段：百万円 下段：増減率	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度 （予想）
売上高	77,380	80,782	79,501	72,967	70,572	80,000
	△2.2 %	4.4 %	△1.6 %	△8.2 %	△3.3 %	13.4 %
営業利益	5,095	4,892	3,564	2,574	3,257	2,600
	40.0 %	△4.0 %	△27.1 %	△27.8 %	26.5 %	△20.2 %
経常利益	5,314	5,218	3,950	2,927	3,652	2,600
	38.0 %	△1.8 %	△24.3 %	△25.9 %	24.8 %	△28.8 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,416	3,111	3,890	1,732	2,169	1,750
	47.8 %	△8.9 %	25.0 %	△55.5 %	25.3 %	△19.3 %
EBITDA	7,967	7,788	6,716	5,742	6,423	6,750
	22.4 %	△2.3 %	△13.8 %	△14.5 %	11.9 %	5.1 %
ROE	7.1 %	6.0 %	7.1 %	3.2 %	4.0 %	3.0 %

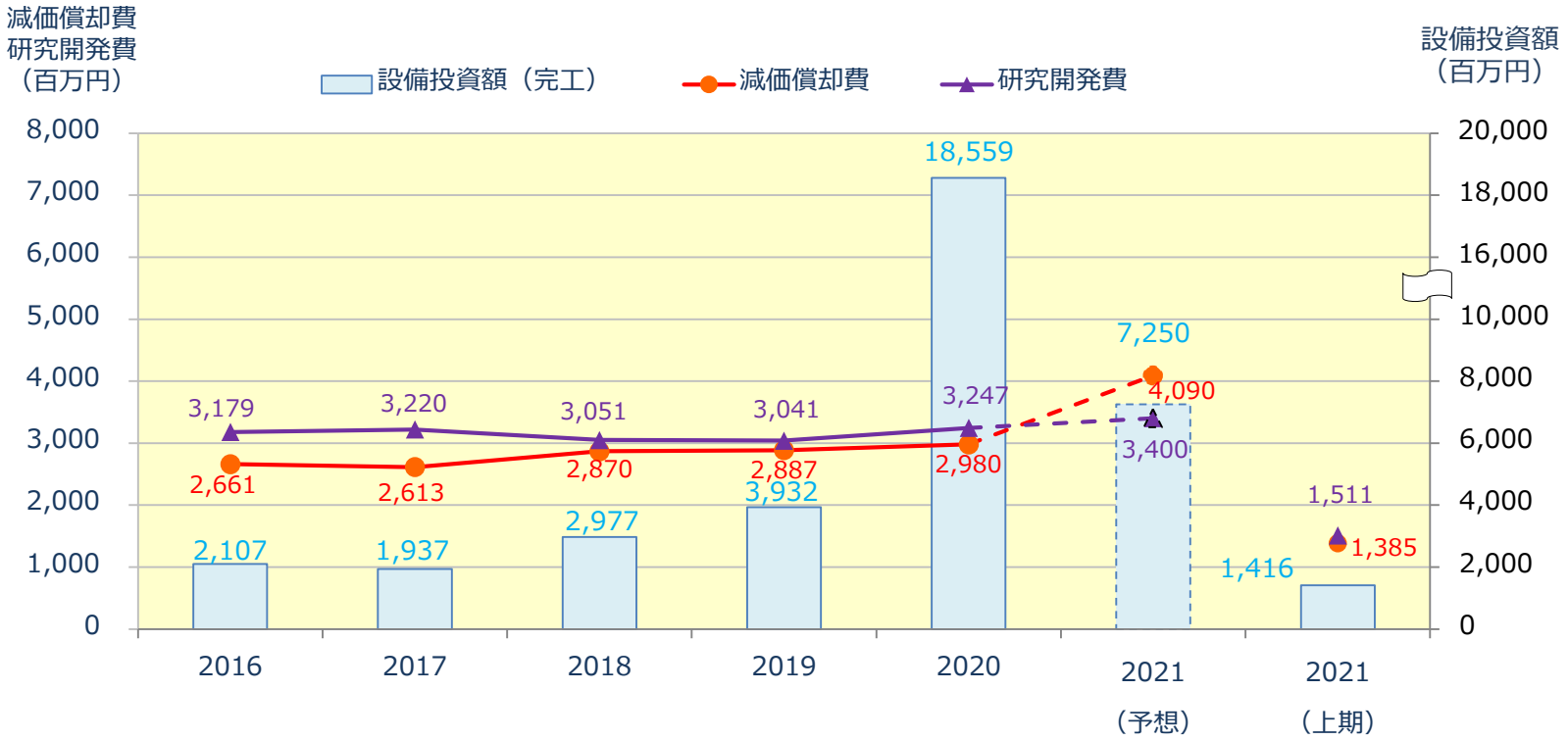
【2021年度】為替レートの前提条件　① 1 USD＝108円　② 1 EUR＝125円

設備投資および研究開発費

２０２１年度見通し

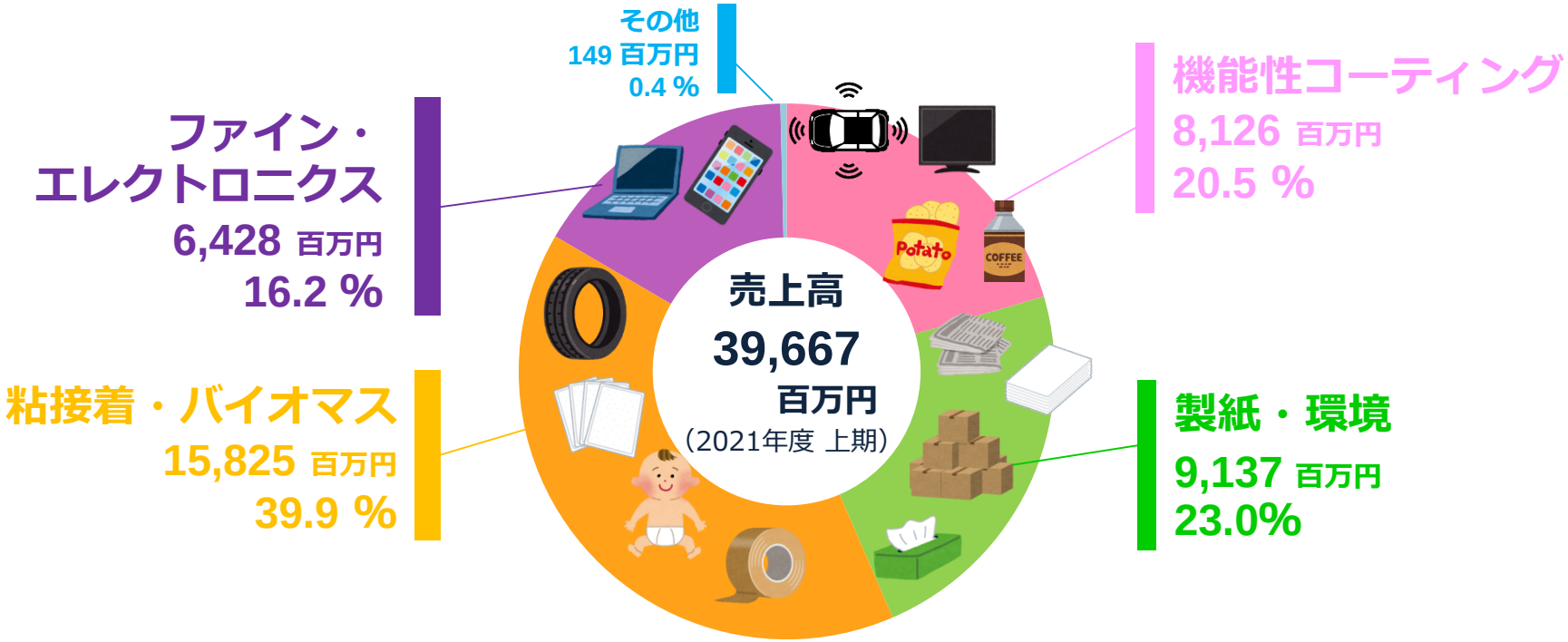
・設備投資：ファインケミカルや荒川ケミカルベトナム社への設備投資を予定していることから、72億50百万円となる見込み

・減価償却：千葉アルコン製造の償却費計上は当初想定より遅れることから、期初予想の49億円から約40億円となる見込み



3　セグメント別情報

セグメント別売上高



セグメント	事業内容
機能性コーティング	光硬化型樹脂、熱硬化型樹脂、印刷インキ用樹脂、塗料用樹脂　等
製紙・環境	紙力増強剤、サイズ剤、新規水系ポリマー　等
粘接着・バイオマス	水素化石油樹脂、粘着・接着剤用樹脂、超淡色ロジン、合成ゴム重合用乳化剤　等
ファイン・エレクトロニクス	精密部品洗浄剤および洗浄装置、低誘電ポリイミド樹脂、ファインケミカル製品、電子材料用配合製品、精密研磨剤　等

増収増益　機能性コーティング事業

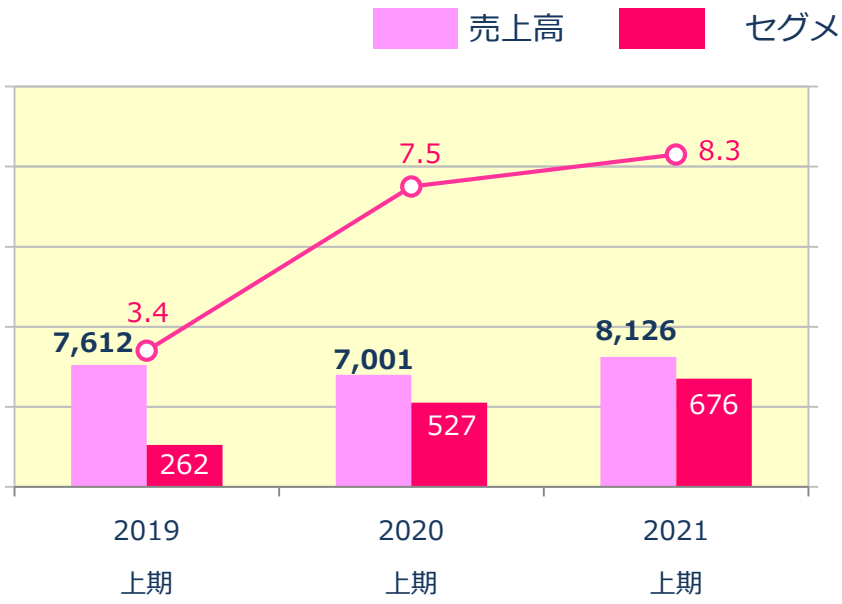
■機能性コーティング材料用の光硬化型樹脂は自動車関連分野や５Ｇ関連分野での販売が引き続き堅調に推移

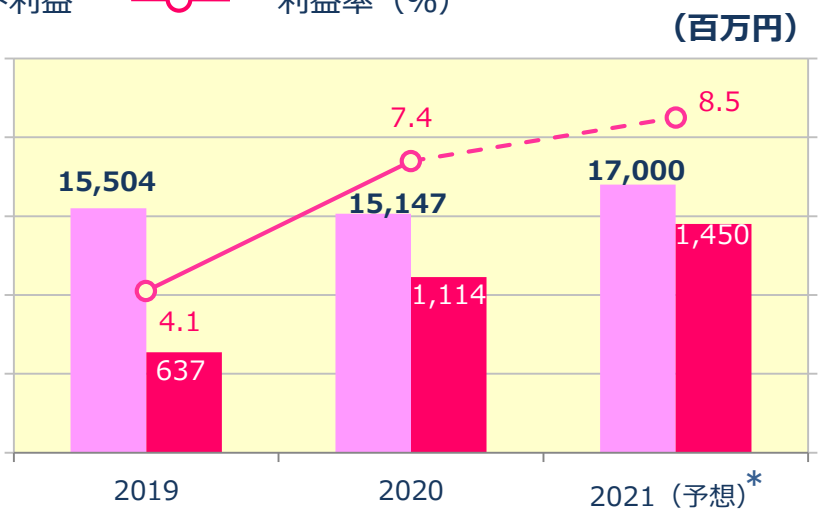
■新型コロナウイルス感染症によって落ち込んでいた印刷インキ用樹脂や塗料用樹脂などの販売は一部で回復

２０２１年度見通し

■光硬化型樹脂の需要は5G関連分野や自動車関連分野の好調が継続

■印刷インキ用樹脂・塗料用樹脂などで需要減少からの反動が一部で見込まれる





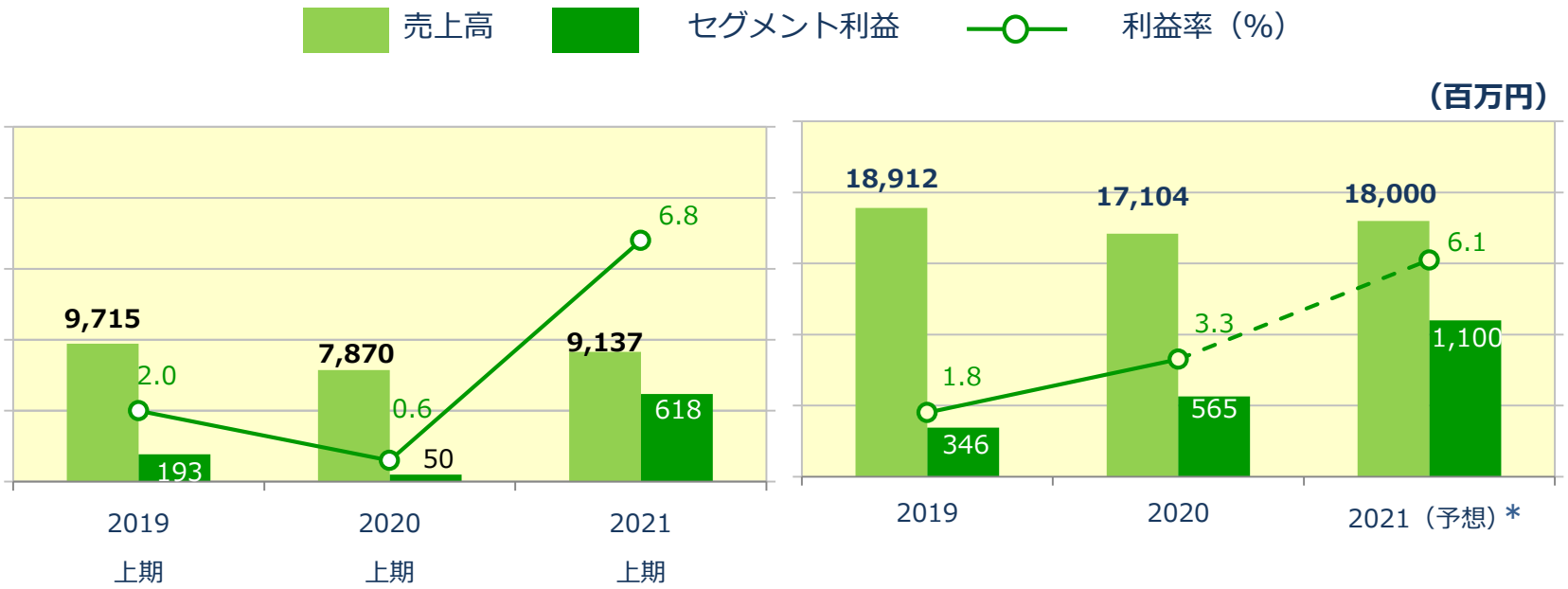
＊ 2021年度予想は新収益認識基準を想定した数値を記載

増収増益　製紙・環境事業

■新型コロナウイルス感染症の影響により大きく落ち込んだ前年からは回復。
　特に紙力増強剤の販売が国内外ともに堅調に推移。

２０２１年度見通し

■中国やASEANで紙力増強剤の需要が堅調、国内の収益性改善が進捗



＊ 2021年度予想は新収益認識基準を想定した数値を記載

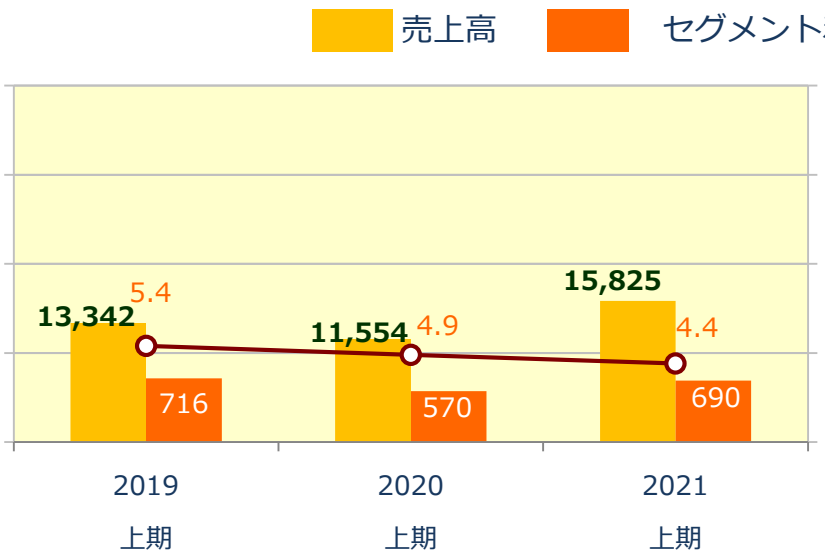
増収増益　粘接着・バイオマス事業

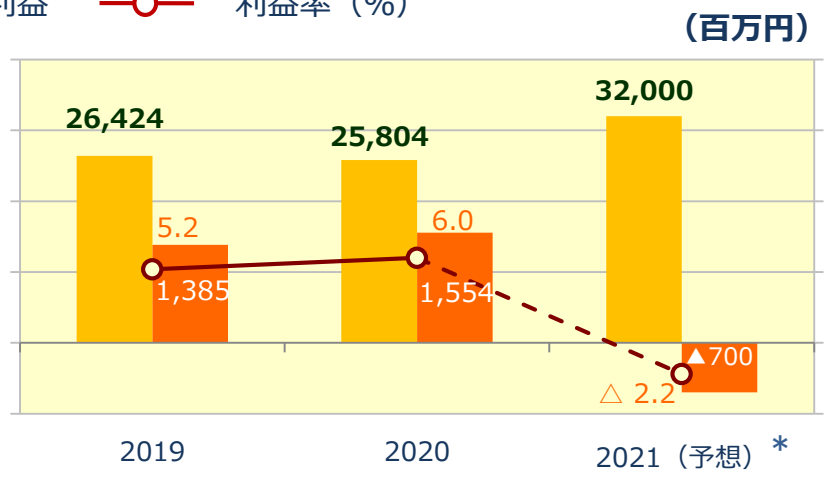
■ロジン価格の高騰による収益性の低下があったものの、ロジン系粘着・接着剤樹脂や水素化石油樹脂の販売は堅調に推移。

■千葉アルコン製造における水素化石油樹脂設備の稼働開始遅延（下期稼働予定）

２０２1年度見通し

■自動車関連分野を中心に粘着・接着剤用樹脂の需要は堅調も、原材料価格の高騰に加えて千葉アルコン製造の稼働開始に伴う多額の償却費など計上のためセグメント利益は赤字を見込む





＊ 2021年度予想は新収益認識基準を想定した数値を記載

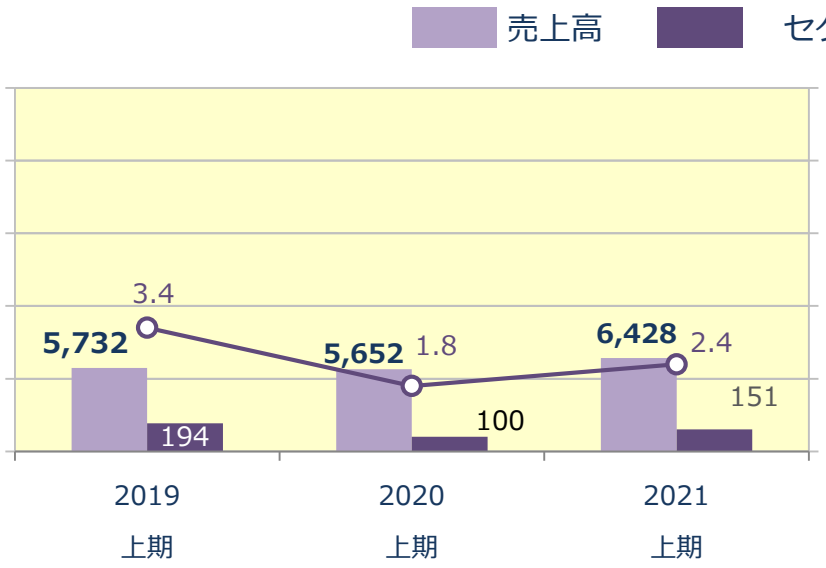
増収増益　ファイン・エレクトロニクス事業

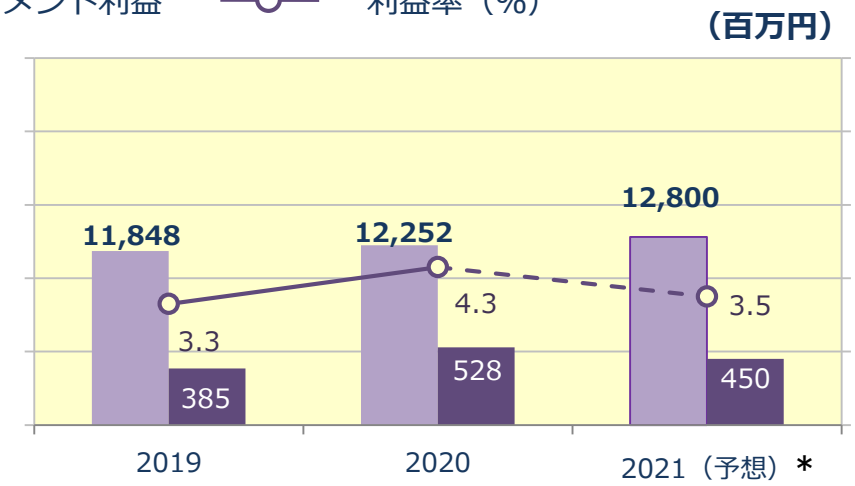
■電子工業業界は、電子媒体関連や５Ｇ関連分野の需要は堅調に推移も、
一部において半導体不足やサプライチェーン停滞の影響による稼働低下や在庫調整あり

■電子材料用配合製品や精密研磨剤は堅調に推移

２０２１年度見通し

■半導体関連（ペルノックス、山口精研工業）などが堅調に推移する見込みも、原材料価格の高騰による収益性の低下が見込まれる

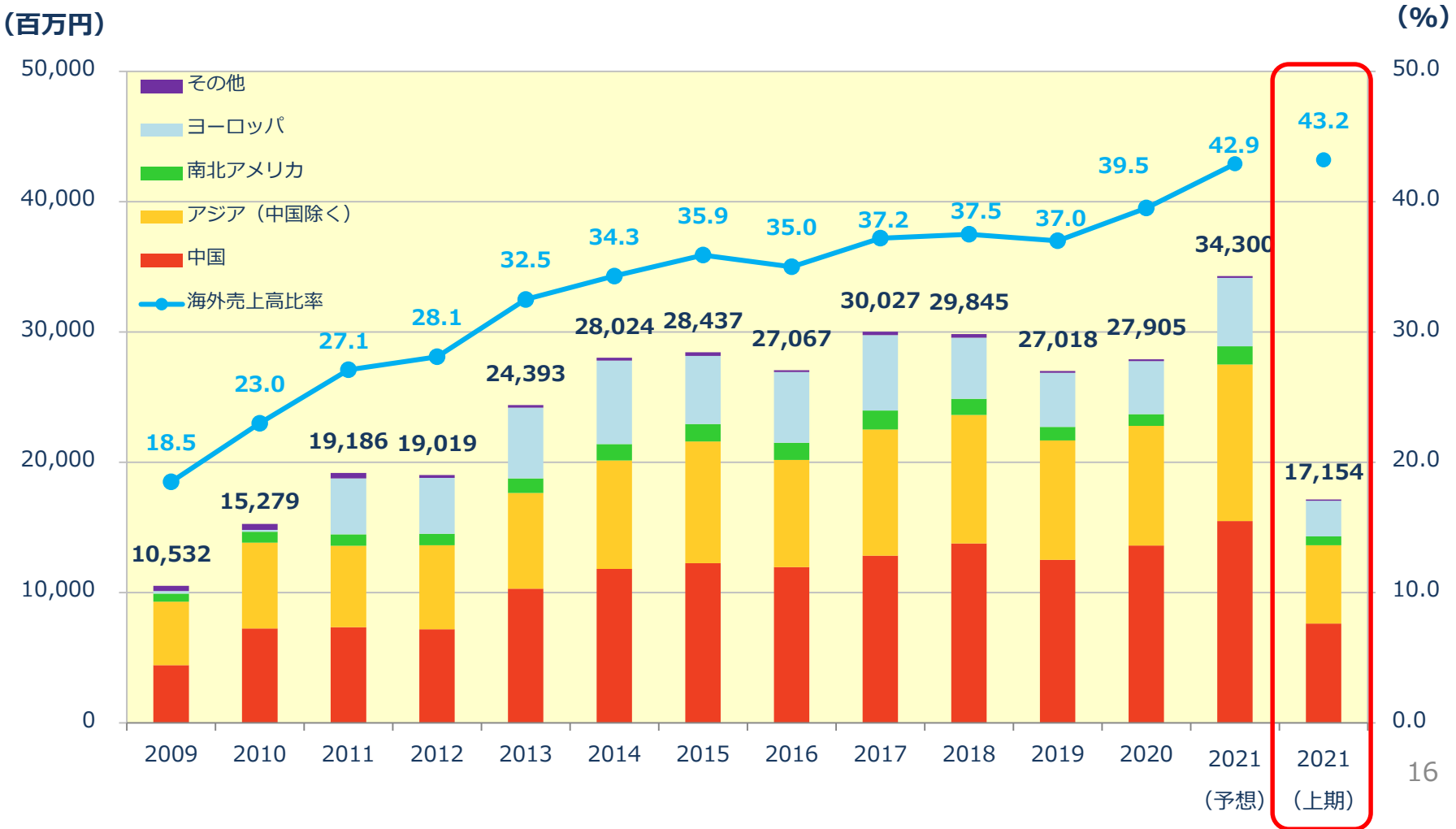




＊ 2021年度予想は新収益認識基準を想定した数値を記載

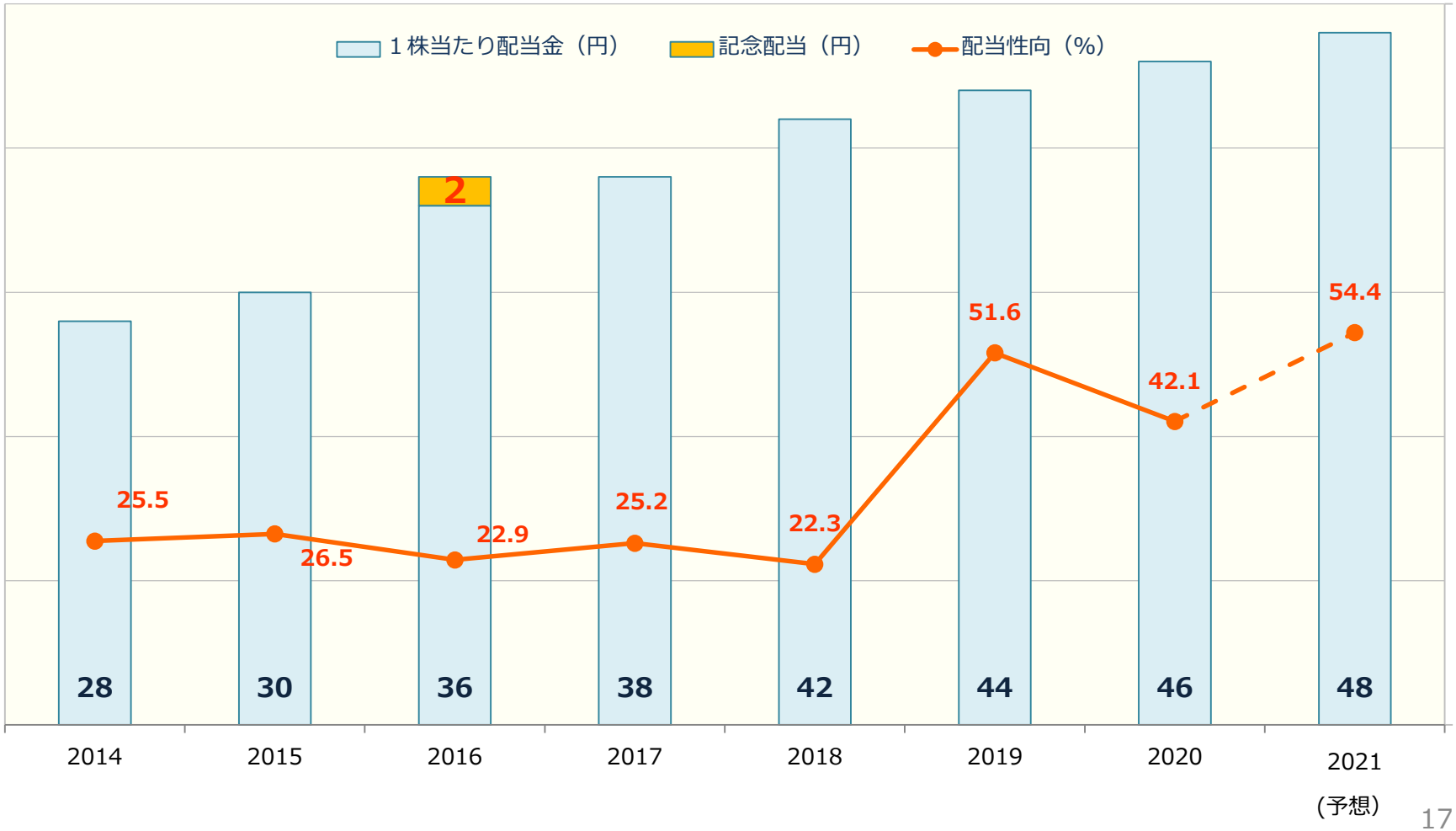
海外売上高・比率 推移

前年の新型コロナウィルス感染症拡大からの回復や中国・アジアでの販売が堅調に推移し、2021年度上期の海外売上高比率は43.2%に増加



配当金の推移

■2021年4月よりスタートしている第５次中期５ヵ年経営実行計画においては、成長戦略の実現による利益の拡大を通じた配当額の増額と配当性向４０％を目標として取り組んでいく



4 事業と製品

第４次中計からの重点施策

市場・戦略	国	製品	施策状況
ＡＳＥＡＮでの 板紙需要の拡大に対応	ベトナム	紙力増強剤	2019年12月 荒川ケミカルベトナム社設立 2021年中の完工に向けて大詰め 2022年からの稼働予定
グローバル需要への対応 原料からの一貫生産体制	日本	水素化石油樹脂	新プラントが完成 稼働開始遅延→下期に稼働スタート予定で立ち上げ作業中

完成間近の
荒川ケミカルベトナム社

まもなく稼働スタート
水素化石油樹脂製造プラント（千葉）

安全最優先・安定稼働・安定供給
⇒早期達成による成果の最大化を目指す

水素化石油樹脂

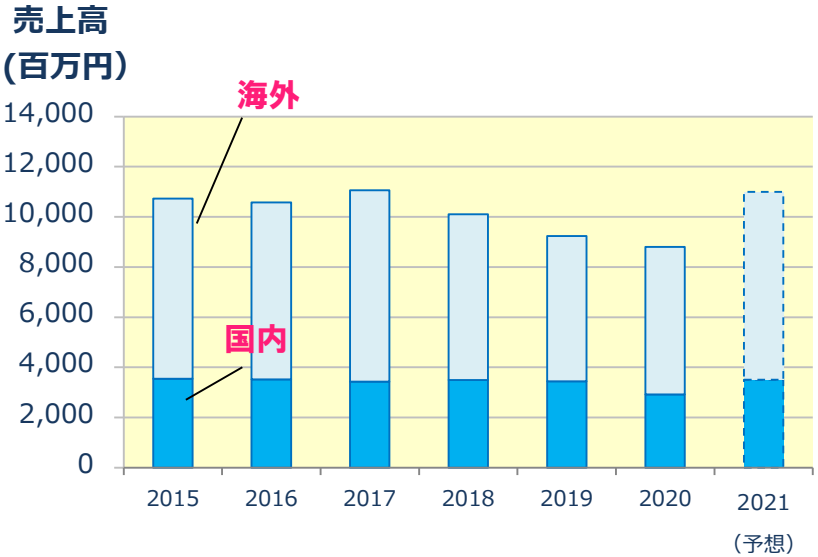
粘接着・バイオマス

■**世界で初めて工業化に成功**（1965年上市）

■コスモEHD㈱、丸善石油化学㈱と3社合弁で**2018年2月に千葉アルコン製造㈱を設立**
新プラントが完工し、下期の稼働に向け準備中
⇒ 原料の効率的・安定的調達、一貫生産によるコスト競争力、インフラ有効活用

■**紙おむつ用ホットメルト接着剤で伸長**
⇒水島工場・ドイツの生産拠点をあわせた３拠点体制でグローバル需要への対応を進め、ブランド力の維持・強化に努める

■**競合他社の供給能力増強により、ボリュームゾーンでの競争激化**



主な競合他社の動き

企業名	生産能力	稼働開始時期
X社	9万t／年間	2018年
Y社	2.5万t／年間	2020年

＊中国進出企業も数社あり

光硬化型樹脂

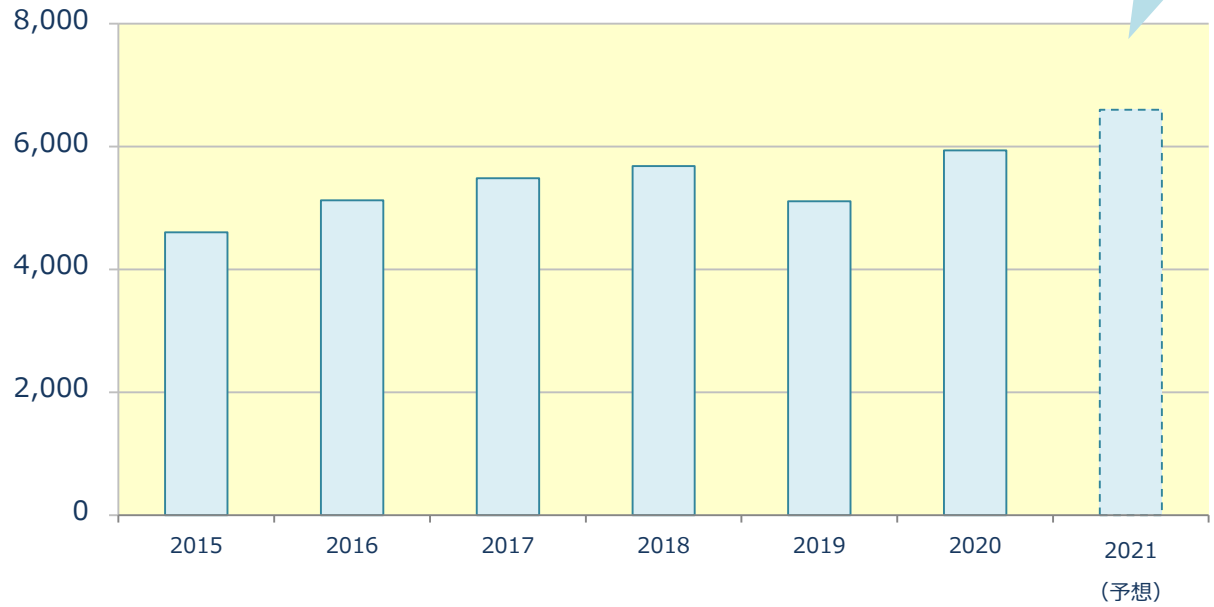
：サスティナビリティ製品

機能性コーティング

- ■光で**瞬時に**固まり、**省エネルギー、環境負荷低減**（VOC削減）
- ■要求特性を実現する**樹脂設計**と**配合技術力**
- ■フィルムコーティングの**高機能化**に

売上高（百万円）

ビームセット、オプスター（光硬化タイプ）



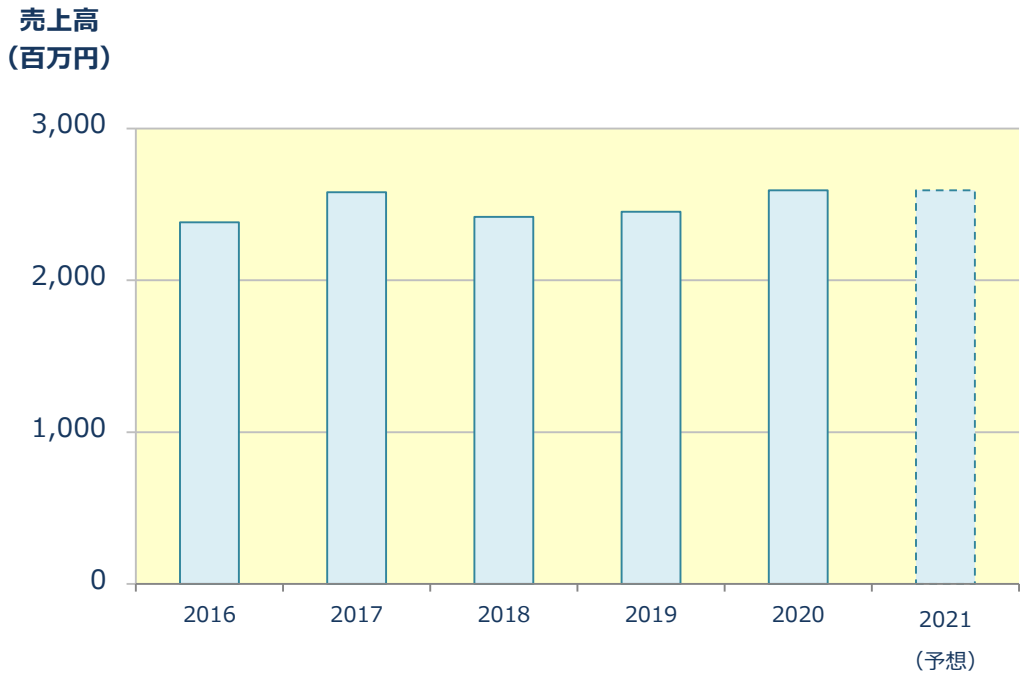
5G関連と自動車関連分野にて
引き続き需要は好調に推移見込み

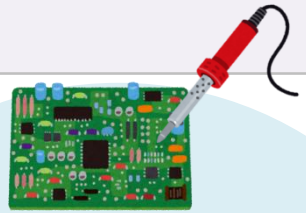
超淡色ロジン

粘接着・バイオマス

：サスティナビリティ製品

■**オンリーワン**製品（琥珀色のロジンを高圧水素化技術により無色化）
■鉛フリーはんだ用フラックスの**業界標準**
■**ライフサイエンス**分野にも進出
■超淡色**液状**ロジンエステル開発





■鉛フリーはんだ用フラックス

■医療用貼付剤

■３Dプリンター関連部材
■光学フィルム関連部材

■**ほぼ無色、不純物が少ない**
■**熱安定性がよい**

精密研磨剤

山口精研工業

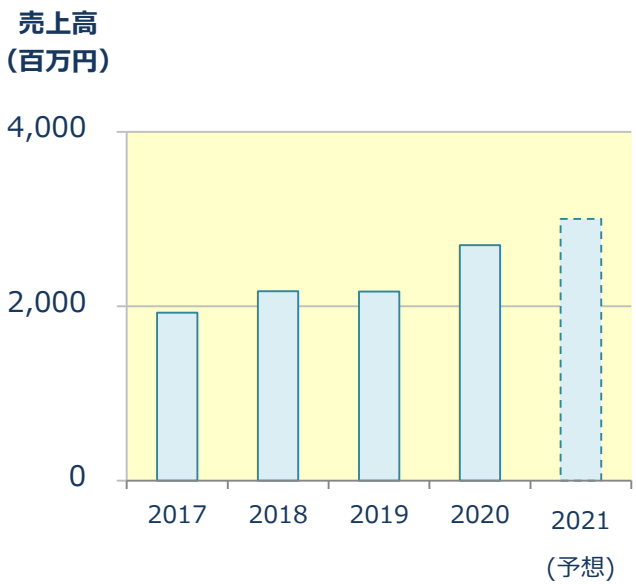
業界動向

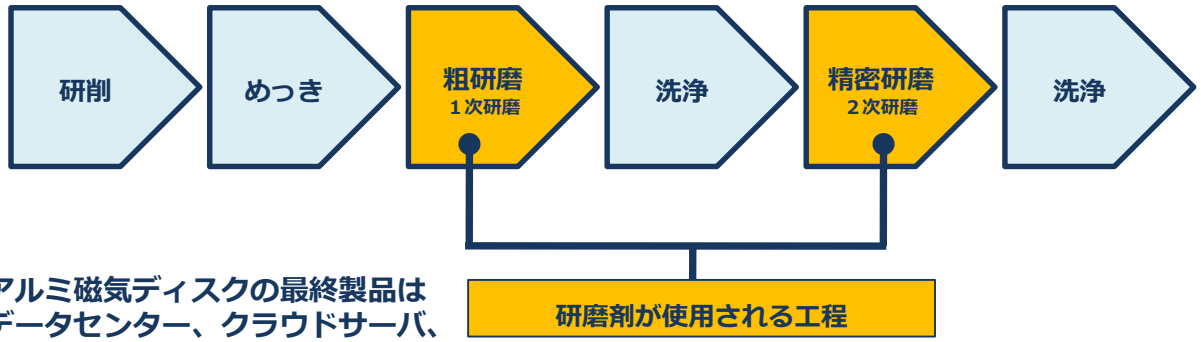
ノートPC等の基板市場は**SSD**が侵食も、大容量化が進む**データセンター**市場は**HDD**の需要拡大。HDD基板は高容量のための薄型化、面品質の向上とコスト削減で**アルミ基板**と**ガラス基板**がしのぎを削っている。

山口精研

- **アルミ磁気ディスク用研磨剤**を主体に各種金属などの鏡面研磨剤を扱う
- **薄型化に対応した研磨剤開発**に注力

- HDD用アルミ基板
- SAWデバイス用基板





アルミ磁気ディスクの最終製品はデータセンター、クラウドサーバ、ＰＣ等

5 サスティナビリティへの取り組み

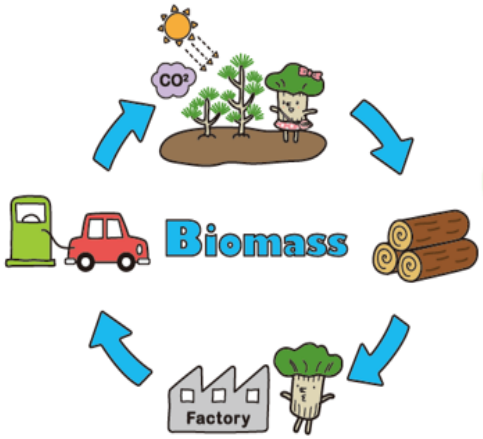
サスティナビリティへの取り組み

■サスティナビリティ委員会が中心となり、ESG、SDGs、Society5.0、気候変動などの環境問題や、ダイバーシティ＆インクルージョンなどを含む社会的課題に対応すべく、様々な事項に取り組んでいく

NIKKEI SDGs 経営調査 2021 ★★★½

★0.5ランクUP

CLOMA



サプライチェーンの持続性確保
・カーボンニュートラル
・VOCの低減
・植林活動

持続的な価値創出を実現

炭素循環社会の実現
・自動車のEV化や軽量化
・スマート農業の促進

個々の能力を最大限発揮
・キャリア形成支援
・ワークライフバランスの最適化
・業務プロセス改革

KIZUNA指標

■2050年CO_2排出量実質ゼロに向けた取り組み
2025年CO_2排出量：**30%削減**　2030年CO_2排出量：**50%削減**（2015年比）

ESGの取り組み

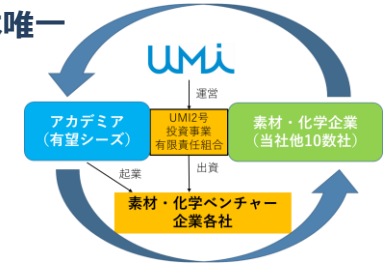
荒川化学グループは経営理念のもと、化学メーカーとして安全・環境配慮を重視した経営を実践し、社会から認められ続ける会社を目指し、145年を歩んでまいりました。
この考えは、国連の2030年目標であるSDGs（貧困、エネルギー、気候変動等の世界の課題に対し17の開発目標を示したもの）にも通じるものです。
当社はESG（環境・社会・企業統治）経営を通し、SDGsにも関連付けながら、さらに社会に貢献してまいります。

E Environment 環境　S Social 社会

環境保全や技術開発による取り組み

開発目標	荒川化学が提供する価値
9 産業と技術革新の基盤をつくろう 強靭（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る	**暮らしの利便性、快適性を高める製品を提供し続けるための技術開発** 14 海の豊かさを守ろう **＊海洋生分解性バイオマスプラスチック開発プラットフォームへ参画**
12 つくる責任 つかう責任 持続可能な生産消費形態を確保する	**具体的な目標を掲げた製品ライフサイクルにおける化学物質の適正管理、産業廃棄物処理活動**
13 気候変動に具体的な対策を 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる	**具体的な目標数値を掲げた温室効果ガス削減活動** OZCaF OSAKAゼロカーボンファウンデーション **・「OSAKAゼロカーボンファウンデーション」に参画** **・カーボンニュートラルな都市ガスの導入** **（大阪工場、グループ会社の高圧化学工業株式会社）**

新規事業への取り組み

開発目標	荒川化学の取り組み
9 産業と技術革新の基盤をつくろう 強靭（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る	**新規事業・新規テーマに関する「社内テーマ提案・チャレンジャー育成」を開始** **2021年上期は21件のテーマ提案** **熱意 → 成長 → 提案**
17 パートナーシップで目標を達成しよう 持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する	**ユニバーサル マテリアルズ インキュベーター社（UMI）が運営するベンチャーファンドであるUMI2号投資事業有限組合への投資** **⇒素材・化学産業に特化した日本唯一のファンド** 

E Environment 環境　S Social 社会

次代へつなぐ取り組み

開発目標	荒川化学が提供する価値
4 質の高い教育をみんなに すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する	「楽しく化学する」を基本に小学生対象の体験学習の実施、若手、中堅社員の海外研修制度、先進国およびその他の開発途上国における高等教育の奨学金制度 ・国内社員を対象にSDGs eラーニングを実施 ・子ども向け化学啓発サイト「うちラボ」に協賛 ・「第53回国際化学オリンピック日本大会2021」に協賛
8 働きがいも経済成長も 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する 	イキイキ・ワクワクと働ける環境整備の推進と充実化 ダイバーシティ&インクルージョンの推進 ⇒KIZUNA推進室始動（D&I推進担当専任、メンバー公募） ・D&I経営勉強会、対話による心の開示訓練 安全文化の醸成活動促進 ・保安力向上センターによる保安力評価準備（富士工場、大阪工場） ・体感型学習　小名浜保安道場 ・荒川安全伝承館の設置（11月完成） ・令和3年度「優良危険物関係事業所 消防庁長官表彰」を受賞 釧路工場、鶴崎工場、グループ会社の高圧化学工業株式会社
15 陸の豊かさも守ろう 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の促進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する	地域の松林復元に寄与する 「マツタロウの森」プロジェクト他の植林活動 CO_2吸収量認定評価 ＊11月：在阪社員参加による植栽活動を1年ぶりに再開

G
Governance
企業統治

経営理念の共有と実践（※KIZUNA活動）

■2021年度よりサスティナビリティ委員会、KIZUNA推進室を新設
■**KIZUNA**活動の継続により、根幹の揺らぐことのない経営を実践する
■リスク管理や内部統制制度、コンプライアンス、コーポレートガバナンス・コードへの取組みを徹底し、中長期的な収益性・生産性を高め、好循環につなげることで企業価値の向上と社会貢献に努める

※**KIZUNA**は、“**ARAKAWA WAY** 5つの**KIZUNA**” の略称であり、当社グループの大切にしている価値観・行動指針を明文化したもの

価値観・行動指針

D＆Iの阻害要因となるアンコンシャスバイアスなど理解促進に努める

D&I経営勉強会

サステナビリティ・リンク・ボンド（SLB）の発行

日本の化学業界では初(世界の化学業界7例目、国内10例目)となるSLB発行

社債の名称	荒川化学工業株式会社第5回無担保社債（社債間限定同順位特約付） （サステナビリティ・リンク・ボンド） （別称：荒川化学 マツタロウ サステナビリティ・リンク・ボンド）
年限・発行額 （各社債の金額）	5年・５０億円 （1億円）
利率 （条件決定日）	年0.180% （2021年11月19日）
取得格付	Ａ－（株式会社日本格付研究所）
引受会社	みずほ証券株式会社（事務主幹事、Structuring Agent）、野村證券株式会社、 三菱ＵＦＪモルガン・スタンレー証券株式会社
ＳＰＴｓ	**ＳＰＴ１：2025年度のCO_2排出量を2015年度比30%削減** **ＳＰＴ２：2025年度のサスティナビリティ製品*の連結売上高指数を2019年度比25%以上アップ**
未達成の場合 （2025年度末時点）	・片方未達の場合、下記の寄付先へ、2026～2030年度の各年度で寄付を実施（社債発行額の0.30%） ①CO_2吸収に効果のある松の植林や苗などを植える法人・団体等（SPT1のみ未達の場合） ②将来を担う学生や子どもたちへの教育の提供や関連する法人・団体等（SPT2のみ未達の場合） ・いずれも未達の場合 ①および②にそれぞれ社債発行額の0.15%相当額（合計で社債発行額の0.30%相当額）の寄付を実施 ・SPTs未達の場合の寄付の実施状況ならびにSPTsの進捗状況については、ウェブサイト上に公表
SLBの 適合性について	株式会社日本格付研究所（JCR）より、ICMAが策定したサステナビリティ・リンク・ボンド原則（SLBP）および環境省が策定したグリーンローンおよびサステナビリティ・リンク・ローンガイドラインに適合している旨の第三者意見書を取得

第５次中計のKIZUNA指標のうち
サスティナビリティ経営における**リスク**と**機会**に対する重要な指標

*社会インフラ課題貢献、環境負荷低減、天然資源活用といったサスティナビリティに貢献している製品として当社内で認定した製品

SPTsの内容について

SPT 1

2025年度のCO2排出量を2015年度比30%削減

CO2排出量の推移

■ SPT1の算定範囲として定めた単体および国内の主要なグループ会社（ペルノックス、高圧化学工業、山口精研工業）におけるCO_2排出量の合計推移

(単位：千トン)

	2015年度(基準年)	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度(予測)
合計	59.5	51	47.8	45.3	45.3
2015年度比		▲14.3%	▲19.7%	▲23.9%	▲24%

CO_2排出量削減に係るロードマップ

■ 2021年から2025年の5年間で継続的な投資を予定
— EMS(環境マネジメントシステム)、省エネ活動（LED照明や効率化など）
— 大規模投資省エネ（太陽光発電設置など）
— 再エネ電気やカーボンニュートラルLNGの購入など

SPT 2

2025年度のサスティナビリティ製品の連結売上高指数を2019年度比25%以上アップ

サスティナビリティ製品の連結売上高の推移と代表的製品

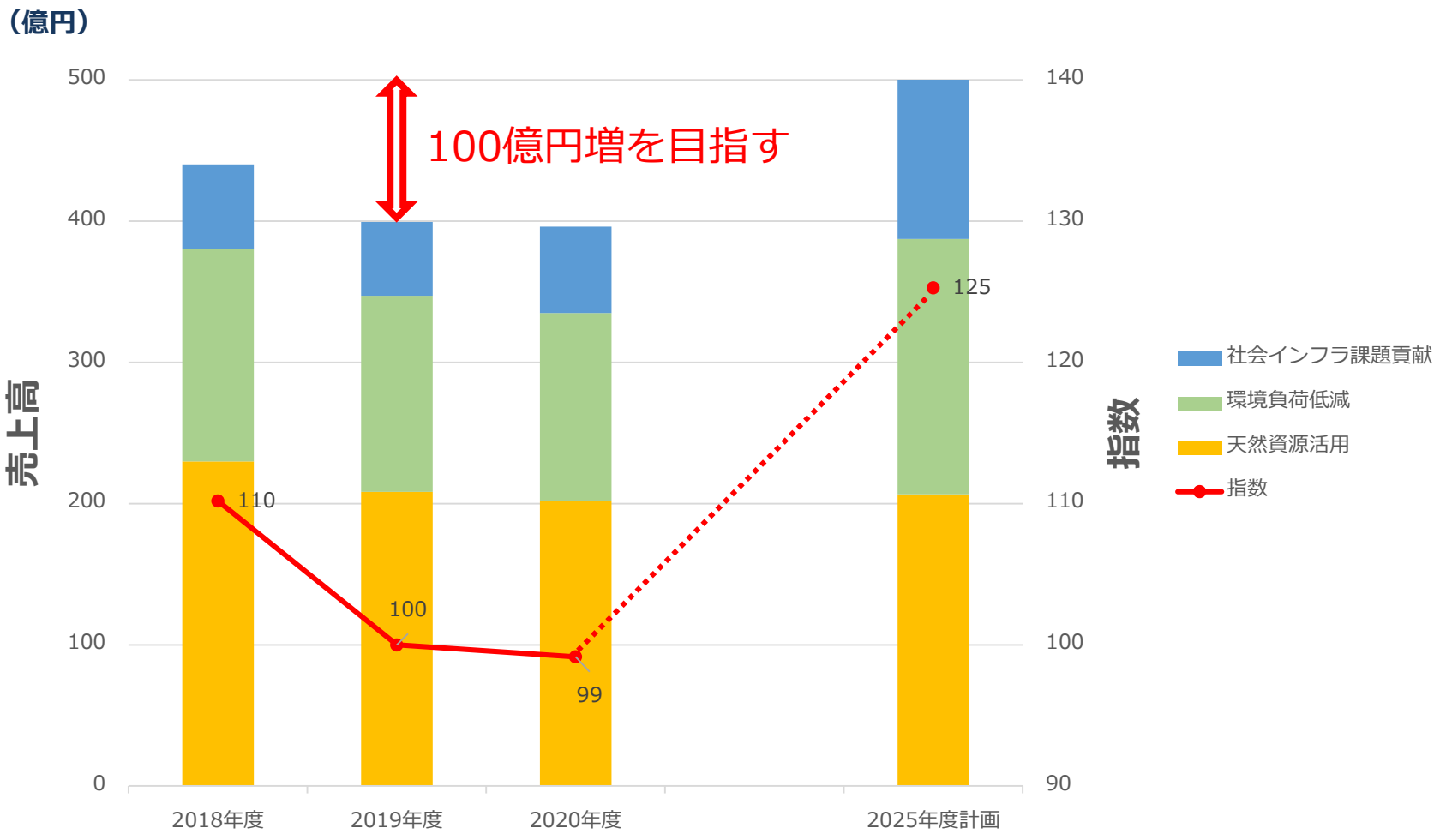
(単位：億円)

カテゴリー	サスティナビリティ製品(代表的製品)	社会的便益	貢献するSDGs
社会インフラ課題貢献	光硬化型樹脂、低誘電ポリイミド樹脂、電池用材料など	5Gなど情報通信速度・量の質的改善、EV普及への貢献	9, 12, 13
環境負荷低減	紙力増強剤、湿潤紙力増強剤、水系インキ・塗料用樹脂、剥離紙用コーティング剤、精密部品洗浄剤など	古紙リサイクルの普及促進などバリューチェーンを通じた環境配慮（労働環境改善・大気汚染の防止を含む）への貢献	8, 9, 12
天然資源活用	ロジン誘導体、超淡色ロジン、水系粘着・接着剤用樹脂、サイズ剤、ロジン系印刷インキ用樹脂、合成ゴム重合用乳化剤など	天然資源活用による炭素循環社会への貢献	9, 12

■ 以下により売上げ拡大を図る
— 循環型素材であるロジン系樹脂の新たな用途開発により維持・拡大に努める
— カーボンニュートラルな社会の構築に資する製品への需要拡大を捕捉
— 社会的課題解決（EV車、Society 5.0 を見据えた通信インフラの拡大）に資する製品の需要拡大への対応

サスティナビリティ製品の連結売上高指数推移

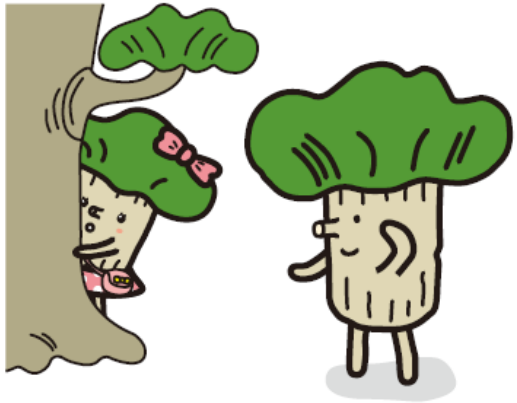
サスティナビリティ製品を3つのカテゴリー別に分けて進捗管理



見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。

荒川化学工業株式会社



参考資料

＜会社概要＞

■会社概要　■沿革　■ネバネバ！ロジンのチカラ　■明治9年　大阪 道修町で創業

■広がるグローバルネットワーク

＜第５次中期５ヵ年経営実行計画について（補足）＞

■経営理念とビジョン　■2030年のありたい姿　■荒川化学の未来像（ビジョンの具現化）

■優先的な重要課題（マテリアリティ）と５つのKIZUNA　■基本方針　■KIZUNA経営　■財務目標

■事業ポートフォリオ改革　■各セグメント計画説明資料　■海外売上高伸長率　■連結データ

■SLBスキームイメージ　■サスティナビリティ製品のSDGsへの貢献

■サスティナビリティ製品の指標への影響度

＜製品情報＞

■低誘電ポリイミド樹脂（PIAD）　■熱硬化型樹脂

■精密部品洗浄システム　■ファインケミカル製品　■電子材料配合製品

＜財務情報・その他＞

■総資産・有利子負債推移　■キャッシュフロー推移　■売上原価・販売管理費推移

■ロジン価格の推移　■株価推移　■株式情報　■マツタロウ＆ロジーナについて

会社概要

■2021年3月末現在

商号	荒川化学工業株式会社
所在地	大阪市中央区平野町1丁目3番7号
代表者	取締役社長　宇根　高司
創業	明治9年（1876年）
会社設立	昭和6年（1931年）
資本金	3,343百万円
従業員数	1,593名（連結）
主要取引先（五十音順）	・王子ホールディングス ・関西ペイント ・JSR ・東洋インキSCホールディングス ・日東電工 ・リンテック

1926年（大正15年）商標登録

当時としてはモダンなアルファベット表記

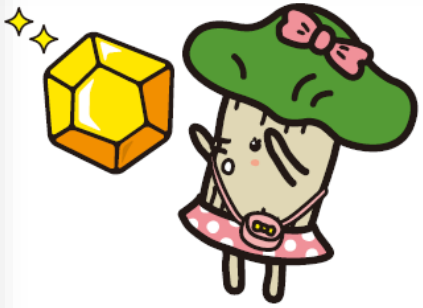
沿革

1876年	（明治9年）	大阪で生薬商として創業
1914年	（大正3年）	鴫野工場を開設し、ロジンの製造開始
1928年	（昭和3年）	ロジン系塗料用樹脂の製造開始
1937年	（昭和12年）	ロジン系印刷インキ用樹脂の製造開始
1954年	（昭和29年）	製紙用薬品（サイズ剤）の製造開始
1967年	（昭和42年）	台湾に天立化学（現 台湾荒川化学）を設立
1977年	（昭和52年）	荒川林産化学工業(株)から荒川化学工業(株)に改称
1995年	（平成7年）	中国に梧州荒川化学を設立
1999年	（平成11年）	大証第二部に株式上場
2003年	（平成15年）	東証・大証第一部に株式上場 日本ペルノックス（株）（現 ペルノックス（株））が当社グループに加入
2004年	（平成16年）	中国に南通荒川化学、広西荒川化学を設立
2008年	（平成20年）	中国に広西梧州荒川化学を設立
2010年	（平成22年）	ダウ・ケミカル社のドイツの「アルコン」事業を取得
2011年	（平成23年）	中国に荒川化学合成（上海）有限公司を設立
2012年	（平成24年）	台湾に柏彌蘭科技股份有限公司（ポミラン・テクノロジー社）を設立
2014年	（平成26年）	台湾に日華荒川化学股份有限公司を設立
2015年	（平成27年）	山口精研工業（株）（名古屋）が当社グループに加入
2018年	（平成30年）	千葉アルコン製造（株）を設立 荒川化学合成（上海）有限公司　東莞分公司を開設
2019年	（令和元年）	荒川ケミカルベトナム社を設立

ネバネバ！ロジンのチカラ

ロジンとは松脂を精製してつくられる樹脂のこと。

松の木にキズをつけると、**ネバネバした松脂**がにじみ出てきます。



世界で古くから使われている天然資源！

明治9年　大阪 道修町で創業

経営理念

個性を伸ばし
技術とサービスで
みんなの夢を実現する

商店時代の看板
□に玉で「カクタマ」と読む

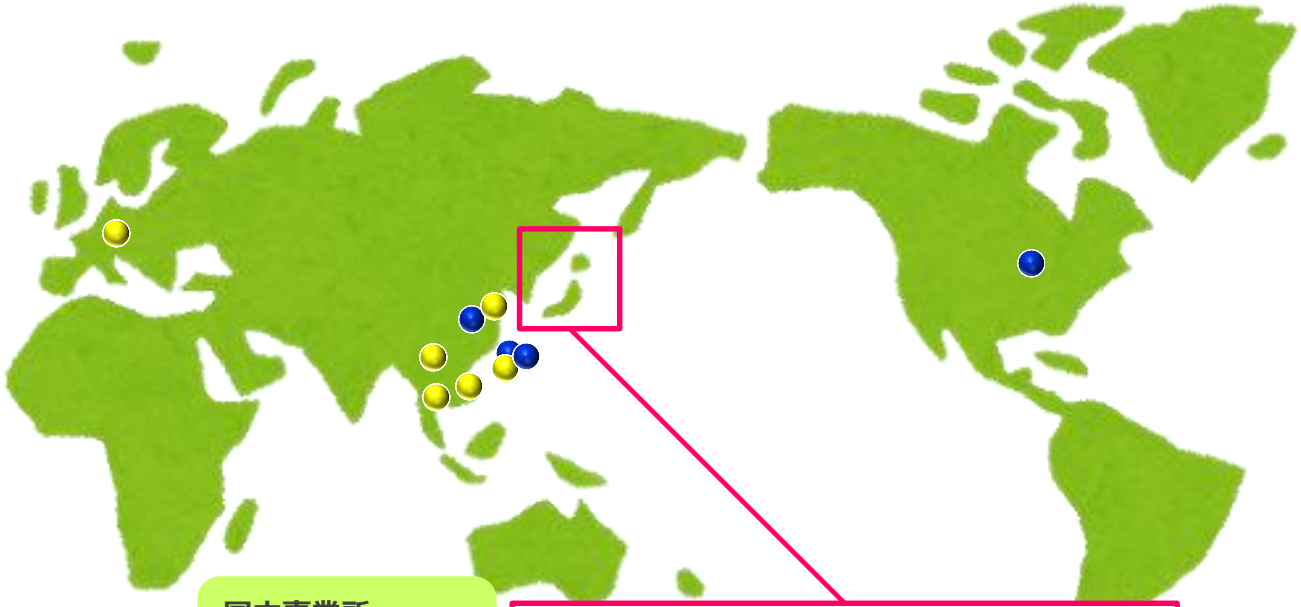
木箱に入った国産ロジン

道修町は薬のまち！

明治末期の道修町の様子

前列中央が荒川正太郎（初代社長）

広がるグローバルネットワーク



海外事業所

製造・販売拠点
荒川ヨーロッパ（ドイツ）
広西梧州荒川（中国）
南通荒川（中国）
荒川ケミカル（タイランド）
台湾荒川
荒川ケミカルベトナム社

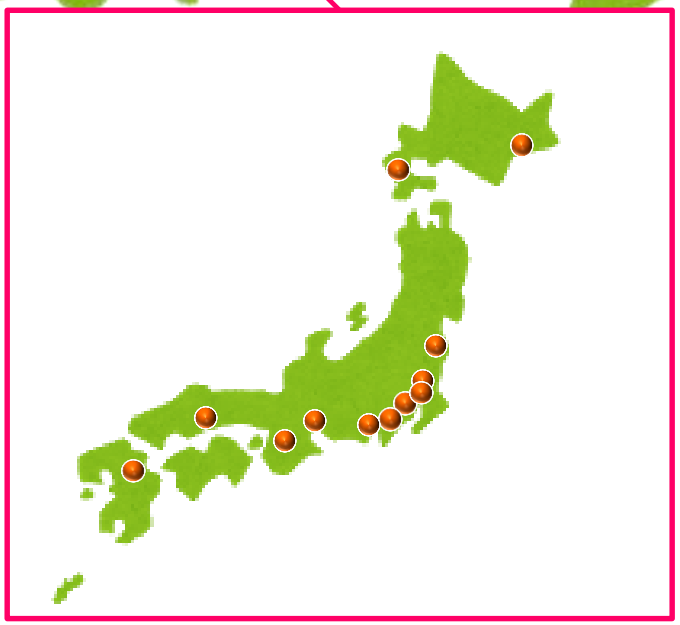
販売拠点
荒川化学合成（上海）
荒川ケミカル（米国）
日華荒川（台湾）
ポミランテクノロジー（台湾）

国内事業所

製造拠点
大阪工場
富士工場
水島工場
小名浜工場
釧路工場
鶴崎工場

研究所
研究所（大阪）
筑波研究所

販売拠点
本社
東京支店
名古屋支店
営業所３地域



国内関係会社
ペルノックス（秦野）
高圧化学工業（大阪）
山口精研工業（名古屋）
カクタマサービス（大阪）
千葉アルコン製造（千葉）

大阪から世界へ！

第５次中期５ヵ年経営実行計画について（補足）

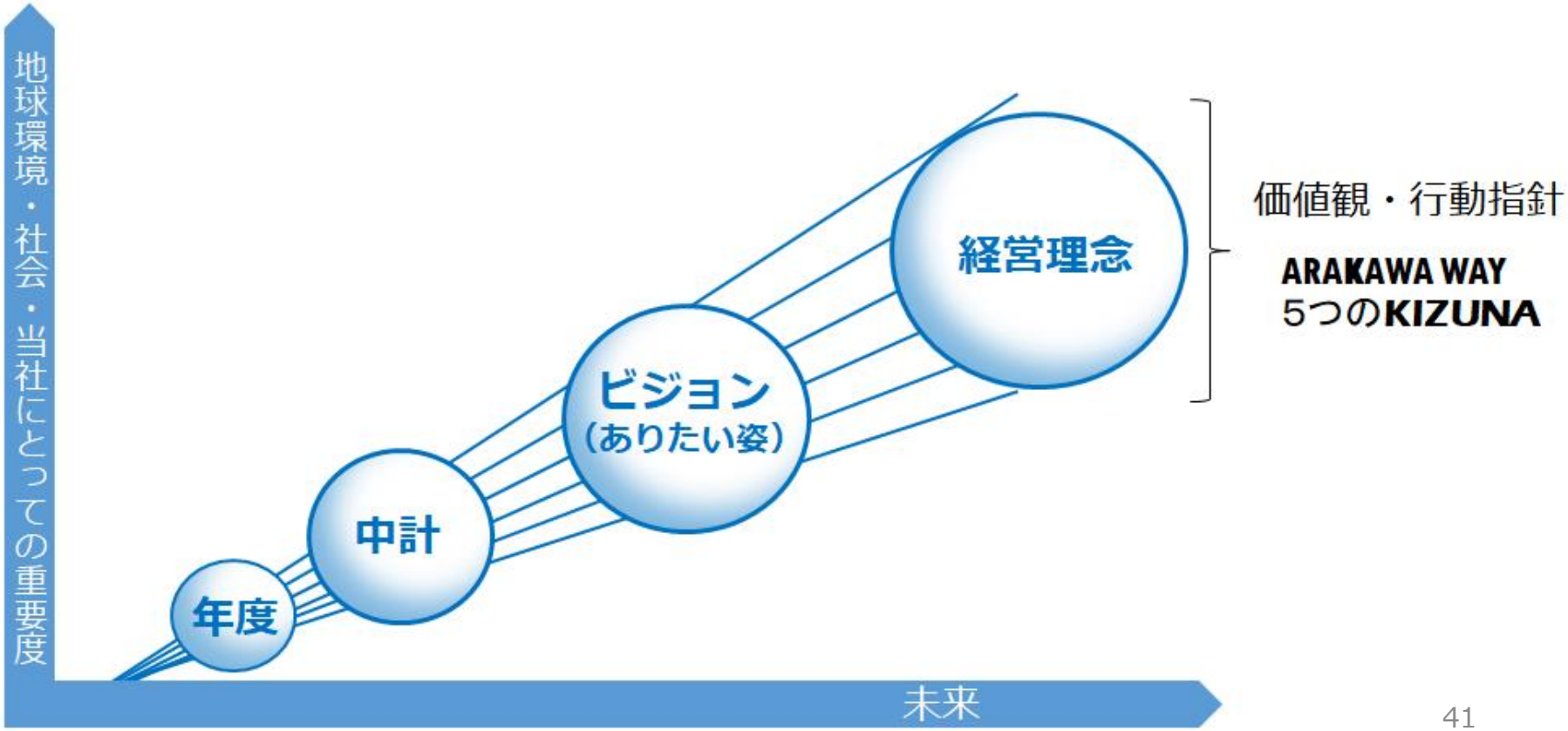
経営理念とビジョン

【経営理念】

個性を伸ばし　技術とサービスで　みんなの夢を実現する

【ビジョン】

つなぐを化学する　SPECIALITY CHEMICAL PARTNER

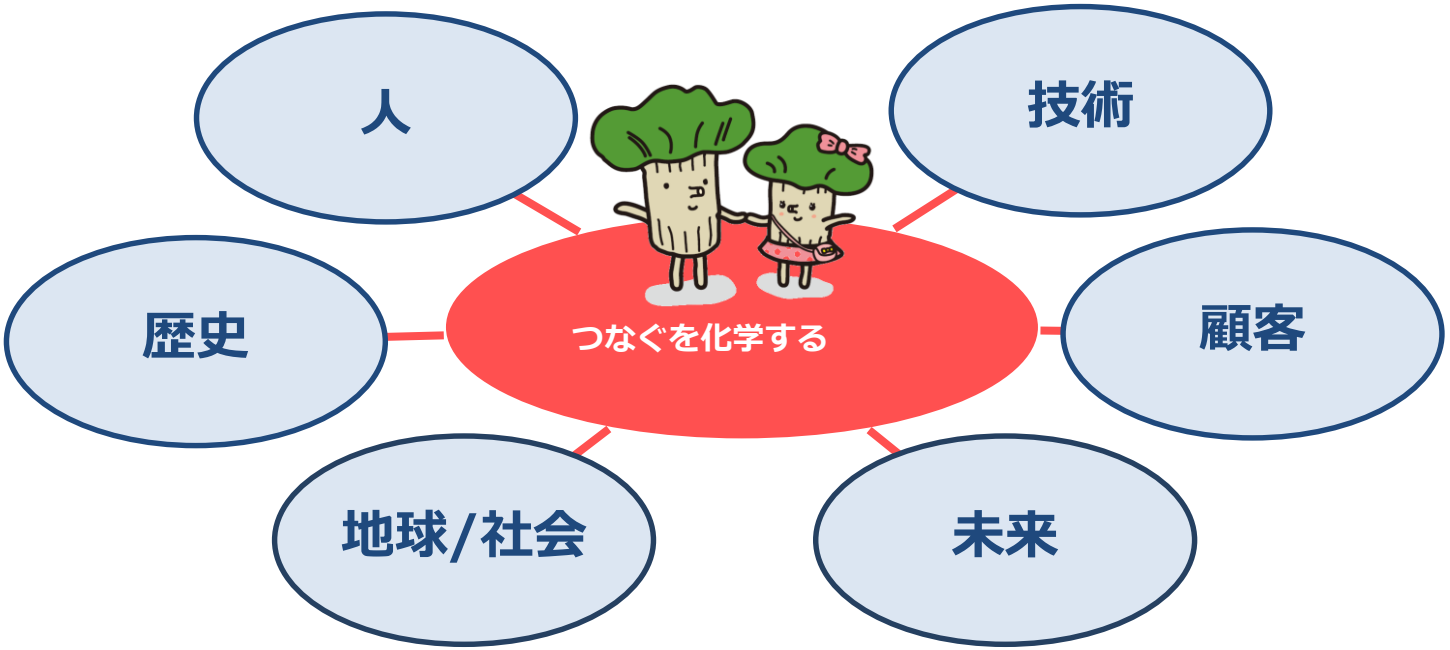


2030年のありたい姿

ロジンをはじめとする環境に配慮した素材を活かし、
「つなぐ」技術の深化と新たな付加価値の創造に挑戦し続けることで、
地球環境と社会の持続可能な未来に貢献する

つなぐを化学する

SPECIALITY　CHEMICAL　PARTNER



荒川化学の未来像（ビジョンの具現化）

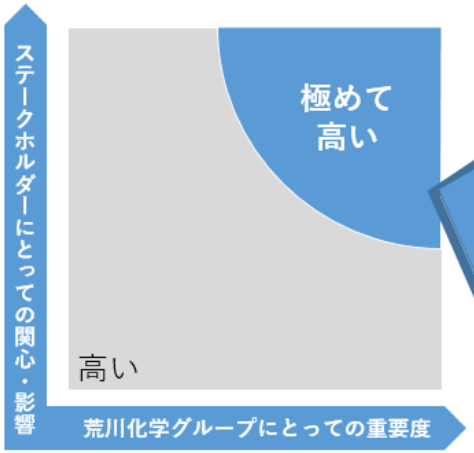
■地球環境と社会の持続的な未来に貢献するエコシステムにしっかり入り込む

■ライフサイエンス関連などの素材・REALとDIGITALを下支えするケミカルパートナーへ変革

優先的な重要課題（マテリアリティ）と５つのKIZUNA

■優先的な重要課題として12項目を選定し、５つのKIZUNA*との紐付け

*荒川化学グループの価値観・行動指針「ARAKAWA WAY　５つのKIZUNA」



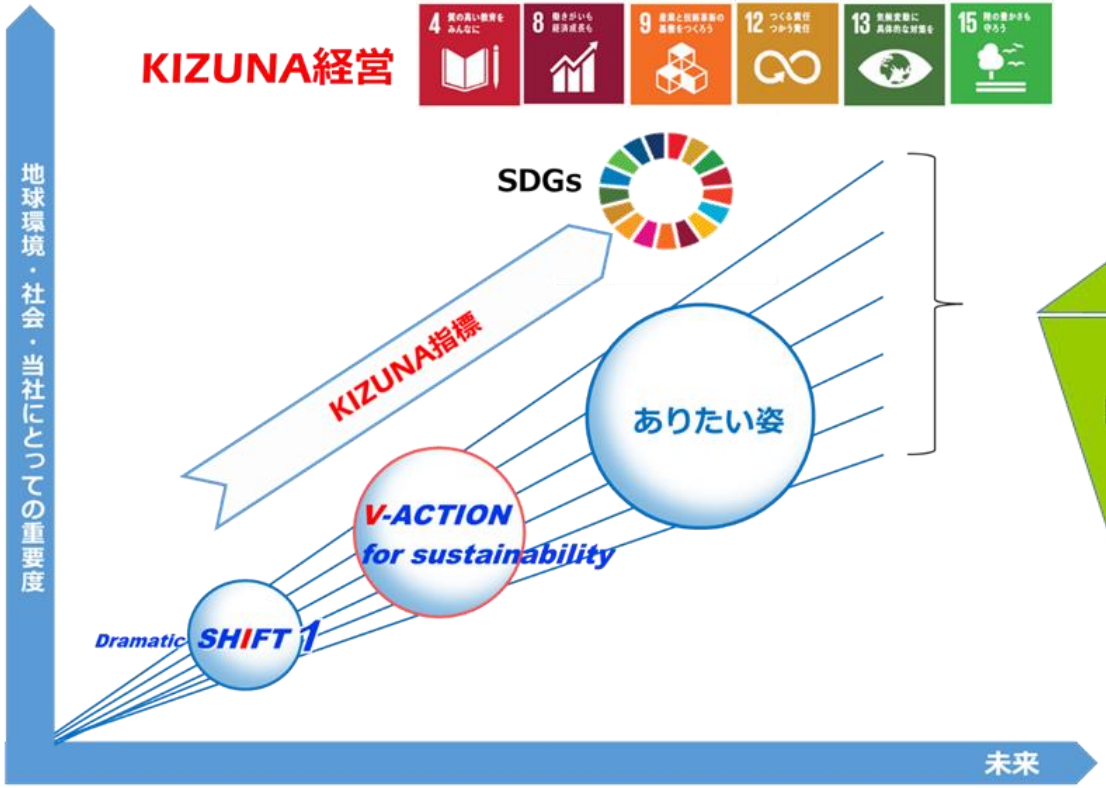
ESG	優先的な重要課題	5つのKIZUNA
E S	安全文化の醸成	【社会の軸】まもる
E	環境保全の強化	
G	ガバナンスの強化	
G	事業のグローバル化推進	【人の軸】関わりあう
S	ダイバーシティ＆インクルージョン推進	
S	働きがい改革	【自身の軸】主役になる
S	ＮＥＸＴ事業の創出	【技術の軸】技術の伝承と革新
E S	マーケティング力・研究開発力の強化	
G	生産体制再構築	
G	健全な財務基盤	【顧客の軸】お客様と共に歩む
E S	持続可能な調達と供給	
G	品質マネジメントの強化	

＊策定にあたってはSDG CompassやGRIスタンダードなどグローバルガイドラインを参照

基本方針

KIZUNA経営の推進とKIZUNA指標の達成

KIZUNA指標：5つのKIZUNA とリンクした優先的な重要課題から設定した指標
「ありたい姿」を実現するための指標



KIZUNA経営

① サスティナビリティ委員会　新設
- 重要課題や関連目標の設定や見直し、進捗状況のモニタリング・評価
- 事業ポートフォリオの見直しや中長期的な経営計画、方向性を決定

② KIZUNA推進室　新設
- 個人と会社がともに成長できる体制や施策を立案
- ５つのKIZUNA共有活動や働きがい改革などを通じて、企業風土の改革を目指す

③ 事業戦略部　新設
- グローバル事業戦略の立案・推進・評価・見直し
- 事業の付加価値を高め、持続可能な成長の実現を目指す

財務目標

（百万円）

	2020年度[1]	2023年度 目標[2]	2025年度 目標[2]	5ヵ年 伸長額[3]	5ヵ年 伸長率[3]	2030年度 目標
売上高	70,572	84,000	90,000	+19,427	+27.5 %	100,000以上
営業利益	3,257	4,500	6,500	+3,242	+99.6 %	10,000以上
経常利益	3,652	4,500	6,500	+2,847	+78.0 %	10,000以上
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,169	3,250	4,500	+2,330	+107.5 %	-
営業利益率(%)	4.6	5.4	7.2	-	-	約10.0
EBITDA (%)	6,423 9.1	9,800 11.7	11,200 12.4	-	-	-

1）新収益認識基準を適用していない2020年度の売上高実績値
2）2023年度と2025年度は新収益認識基準を想定した売上高を記載
3）新収益認識基準を適用していない2020年度の売上高実績値基準

（参考）減価償却費	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
連結減価償却費（予想）	約4,900 →4,090	約5,800 →5,900	約5,300 →5,400	約5,000 →5,100	約4,700 →4,800
うち千葉アルコン製造㈱	約1,700 →890	約2,300 →2,400	約1,800 →1,900	約1,500 →1,600	約1,200 →1,300

赤字は修正値

財務目標（セグメント別）

（百万円）

		2020年度 実績[1]	2023年 目標[2]	2025年度 目標[2]	5カ年 伸長率[3]
機能性コーティング事業	売上高	15,147	19,000	20,000	+32.0 %
	セグメント利益	1,114	1,800	2,100	+88.4 %
製紙・環境事業	売上高	17,104	19,000	20,000	+16.9 %
	セグメント利益	565	900	1,250	+121.0 %
粘接着・バイオマス事業	売上高	25,804	30,500	31,000	+20.1 %
	セグメント利益	1,554	1,200	2,100	+35.1 %
ファイン・エレクトロニクス事業	売上高	12,252	15,000	18,000	+46.9 %
	セグメント利益	528	1,150	1,800	+240.8 %
みつける	売上高	-	200	600	-
	セグメント利益	-	80	280	-
合計	売上高	70,309	84,000	90,000	+28.0 %
	セグメント利益	3,763	5,150	7,550	+100.6 %
	新規開発投資	△377	△650	△850	―
	新規開発投資差引後利益	3,385	4,500	6,700	+97.9 %

1）新収益認識基準を適用していない2020年度の売上高実績値
2）2025年度と2025年度は新収益認識基準を想定した売上高を記載
3）新収益認識基準を適用していない2020年度の売上高実績値基準

事業ポートフォリオ改革

■コア技術・素材

荒川化学グループが提供できる価値に対して、長期的に経営資源を投入し、

事業ポートフォリオの中核とする

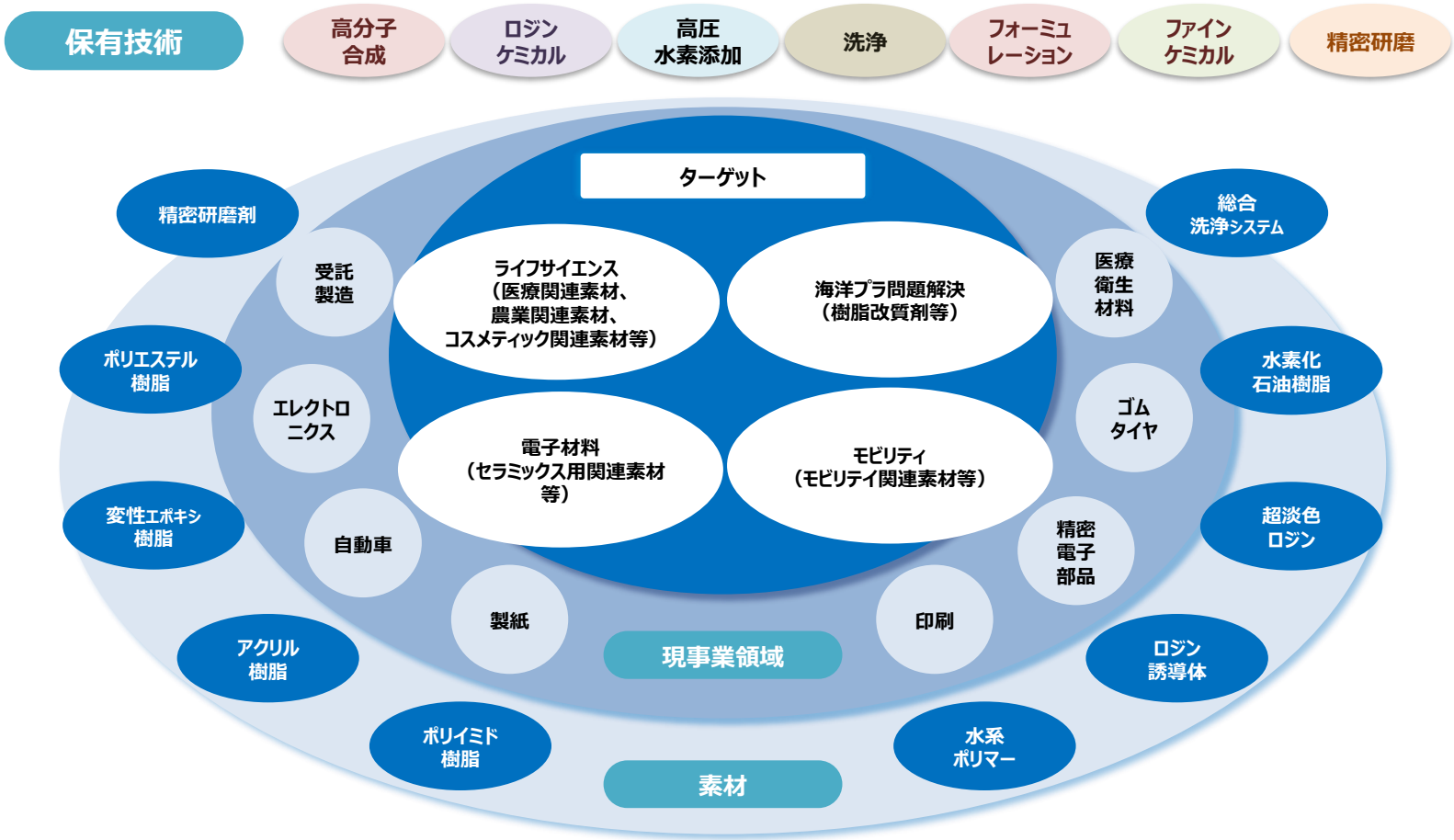
コア技術・素材	強み	方向性
水系ポリマー	重合技術	より一層環境に配慮した製品の開発 コア技術を活用した機能性材料としての新規用途展開
フォレスト ケミカル	原料調達 ロジン基礎技術 ロジン変性技術	持続可能な再生原料の有効活用 資源確保、高機能化 高付加価値用途への展開
水素添加	高圧水添技術・ 設備	グローバルでのブランド力の維持・強化 高圧水添技術の伝承と活用・展開 ブラッシュアップ
機能性材料＊	スペシャリティ カスタマイズ	業界情報の集約 市場変化スピードへの対応、新規テーマ獲得 品質、生産設備の強化

＊機能性コーティング剤（光硬化型/熱硬化型樹脂）、低誘電ポリイミド樹脂、ファインケミカル、電子材料配合製品、精密研磨剤など

事業ポートフォリオ改革

■現事業領域・素材と今後のターゲット分野

現事業領域に加え、**新たな事業領域での事業創出**に挑戦



事業ポートフォリオ改革

■プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント
「みつける」「そだてる」「のばす」ミッションへ**積極的に経営資源を投入**

2020年度 時点

みつける

成長性

そだてる

売上高１０億円
または事業利益１億円
を見込める事業

✓熱硬化型樹脂
✓低誘電ポリイミド樹脂
✓電池用材料

のばす

経営資源の集中投入により成長が
期待できる事業（事業利益率7%以上）

✓光硬化型樹脂
✓製紙薬品（海外）
✓水素化石油樹脂
✓精密部品洗浄剤

やめる/わたす/すてる

採算性が見込めない事業

かせぐ

長期的に利益を生み出す事業
（事業利益黒字。利益率5%目処）

✓印刷インキ用・塗料用樹脂
✓製紙薬品（国内）
✓ロジン系粘着接着剤用樹脂
✓ファインケミカル
✓電子材料用配合製品
✓精密研磨剤

事業ポートフォリオ改革

2025年度 ありたい姿

みつける

成長性

そだてる

売上高１０億円
または事業利益１億円
を見込める事業

✓第4次中計でみつけたテーマ
✓第5次中計でみつけたテーマ

のばす

経営資源の集中投入により成長が
期待できる事業（事業利益率7%以上）

✓光硬化型樹脂
✓熱硬化型樹脂
✓製紙薬品（海外）
✓低誘電ポリイミド樹脂
✓ファインケミカル
✓電池用材料
✓精密部品洗浄剤

やめる/わたす/すてる

採算性の改善が見込めない事業
付加価値を生まない事業
コアに成り得ない事業

?

事業評価

かせぐ

長期的に利益を生み出す事業
（事業利益黒字。利益率5%目処）

✓印刷インキ用・塗料用樹脂
✓製紙薬品（国内）
✓ロジン系粘着接着剤用樹脂
✓水素化石油樹脂
✓電子材料用配合製品
✓精密研磨剤

ターゲット分野

・ライフサイエンス
（医療関連素材、農業関連素材
コスメティック関連素材など）
・海洋プラスチック
問題解決関連素材
・セラミックス用関連素材
・モビリティ関連素材

事業ポートフォリオ改革

■新規事業創出の仕組みを確立し、ターゲット分野への参入に挑戦

■ＡＩ・ＭＩ活用による研究開発活動の効率化を推進

みつける

そだてる	のばす
やめる/わたす/すてる	かせぐ

成長性

収益性

新規分野での実績化

ライフサイエンス 医療関連素材、農業関連素材 コスメティック関連素材など	海洋プラスチック 問題解決関連素材
セラミックス用 関連素材	モビリティ 関連素材

など

・マーケティング機能の強化
・社内テーマ提案・チャレンジャー育成の推進
・外部ソースの有効活用

セグメント組み換え（2021年度より）

旧セグメント

製紙薬品事業
- サイズ剤
- 紙力増強剤

コーティング事業
- 機能性コーティング剤
- 印刷インキ・塗料用樹脂
- 合成ゴム重合用乳化剤

粘接着事業
- 水素化石油樹脂
- 粘着･接着剤用樹脂 など
- シリコーン樹脂

機能性材料事業
- 精密部品洗浄剤 など
- 低誘電ポリイミド樹脂
- ファインケミカル
- 電子材料用配合製品
- 精密研磨剤

印は、主にロジン系製品

印は、主に超淡色ロジン系製品

新セグメント

機能性コーティング事業
- 機能性コーティング剤
- 印刷インキ・塗料用樹脂
- シリコーン樹脂

製紙・環境事業
- 紙力増強剤
- サイズ剤

粘接着・バイオマス事業
- 水素化石油樹脂
- 粘着･接着剤用樹脂 など
- 合成ゴム重合用乳化剤

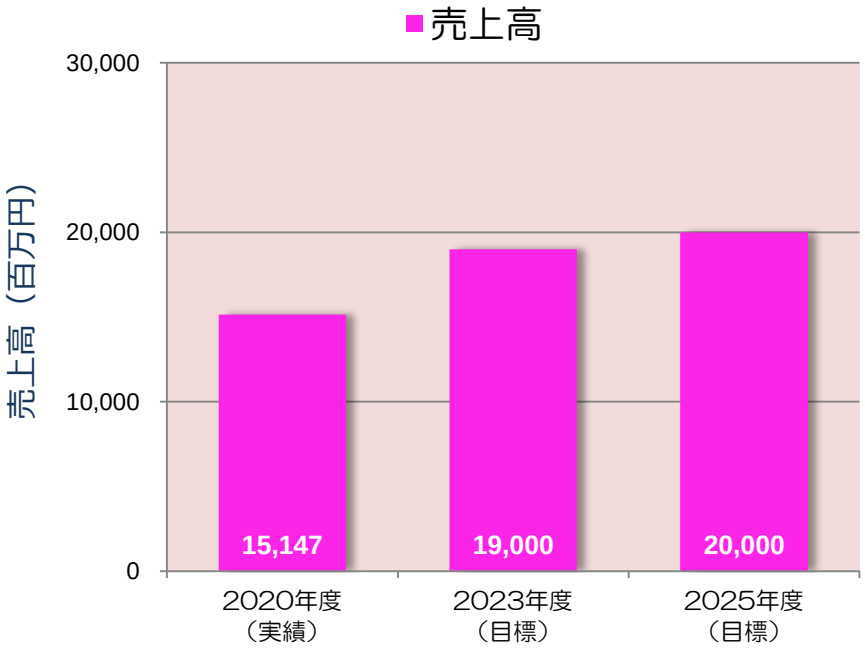
ファイン・エレクトロニクス事業
- 精密部品洗浄剤 など
- 低誘電ポリイミド樹脂
- ファインケミカル
- 電子材料用配合製品
- 精密研磨剤

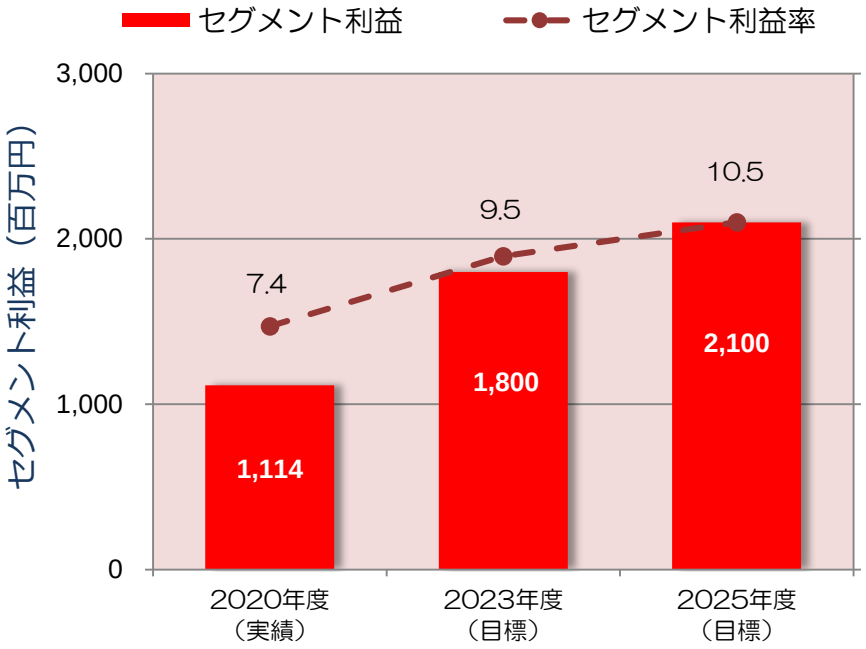
機能性コーティング事業

高収益・注力

■機能性コーティング剤の強固な事業基盤構築によるさらなる拡大

■印刷インキ用樹脂や塗料用樹脂は、採算性の向上を推し進めるとともに、コア技術を活かした新規テーマの創出に注力



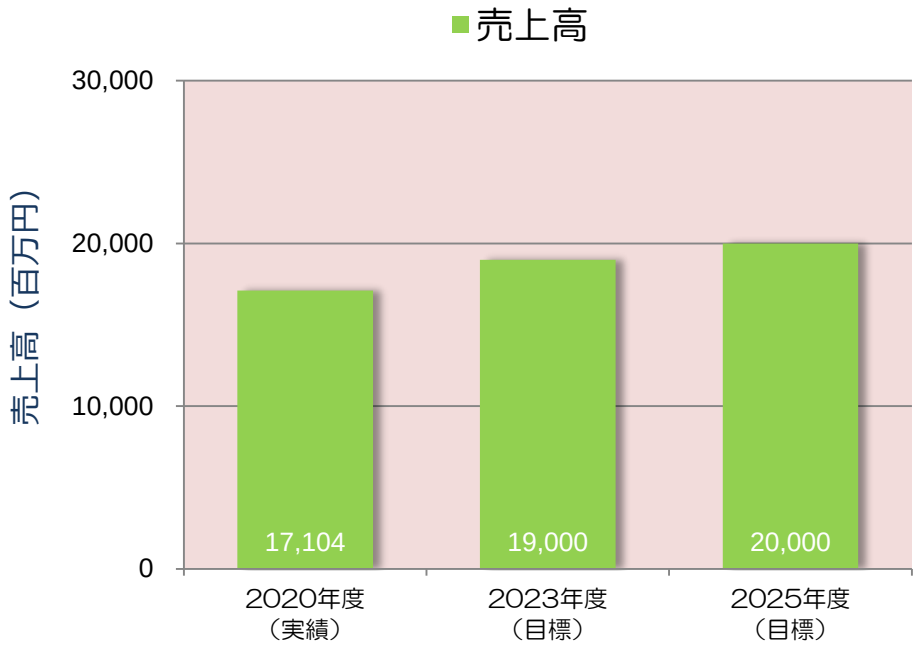


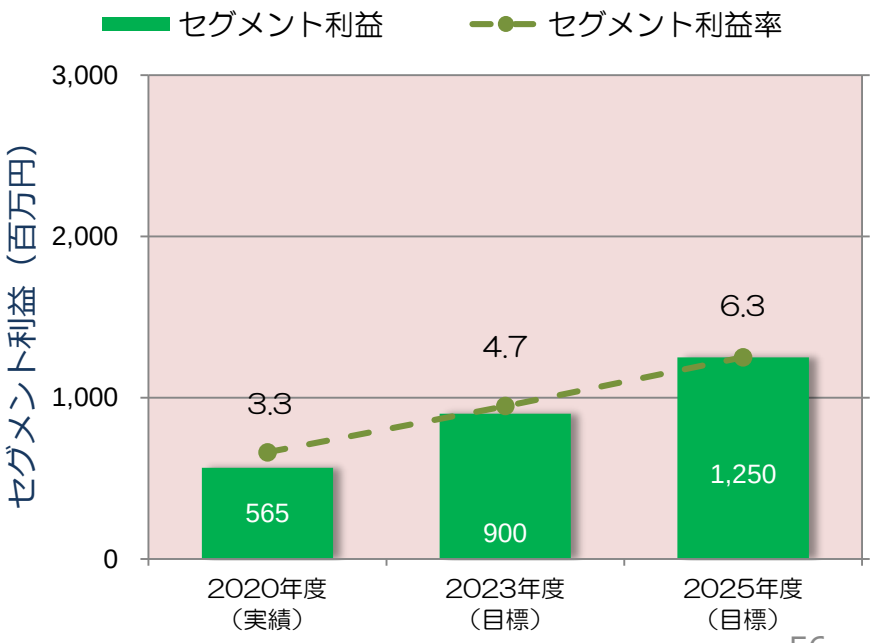
製紙・環境事業

ＡＳＥＡＮ拡大

■推進中の海外事業の拡大戦略を加速するとともに、国内事業は採算性の向上を強力に推し進め、コア技術を活かした新規テーマの創出に注力

・ＡＳＥＡＮを中心としたアジア地域での紙力増強剤の拡大
・テーマの選択と集中、生産体制の最適化による国内事業の採算性向上
・水系ポリマーを活用した地球環境と社会へ貢献できる新規テーマの創出





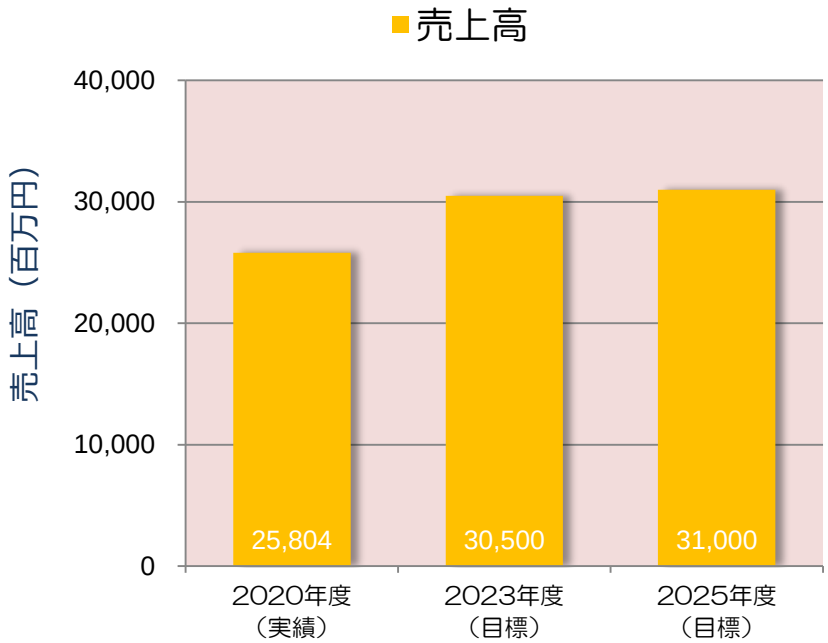
粘接着・バイオマス事業

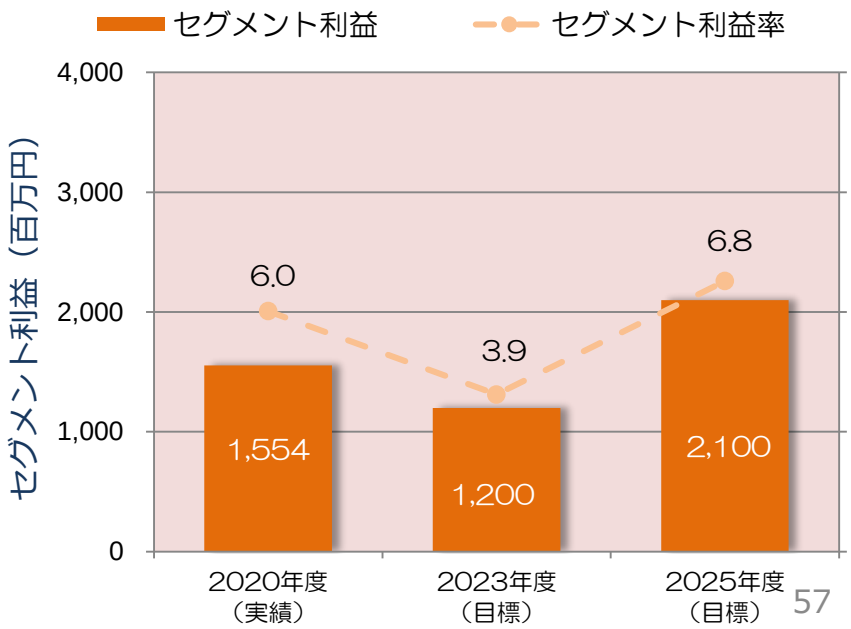
グローバル基盤・展開

■「ロジンの荒川」から「Global Pine Chemicals Partner」への深化を目指し、松脂資源と関連事業の持続性を確保

■水素化石油樹脂「ARKON」はアジア唯一のグローバルサプライヤーとして名実ともにグローバルでのブランド力を維持・強化

・バイオマス素材としての利点を活かしたロジン誘導体事業の拡大と持続性確保
・「ARKON」３拠点体制（水島、千葉、ドイツ）の特長を活かした供給体制構築と拡販



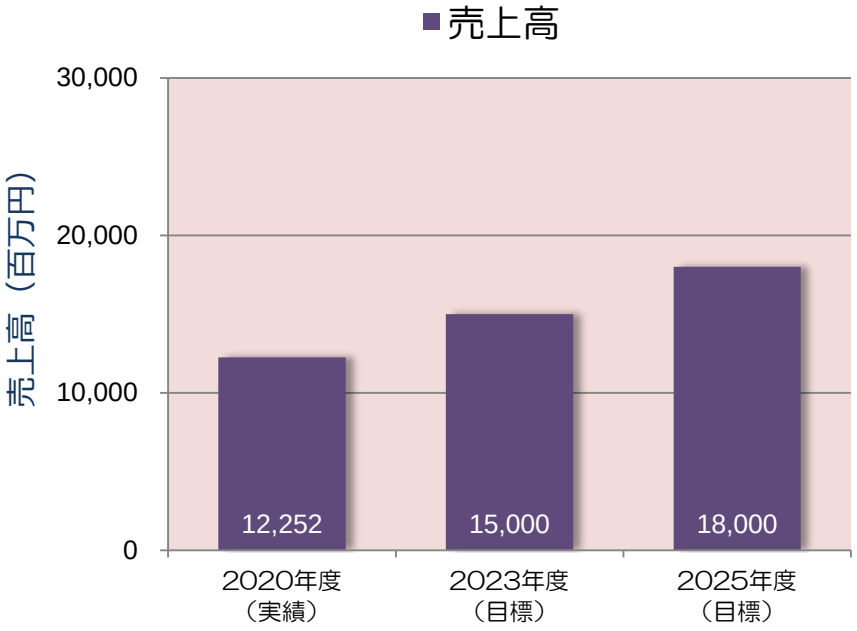


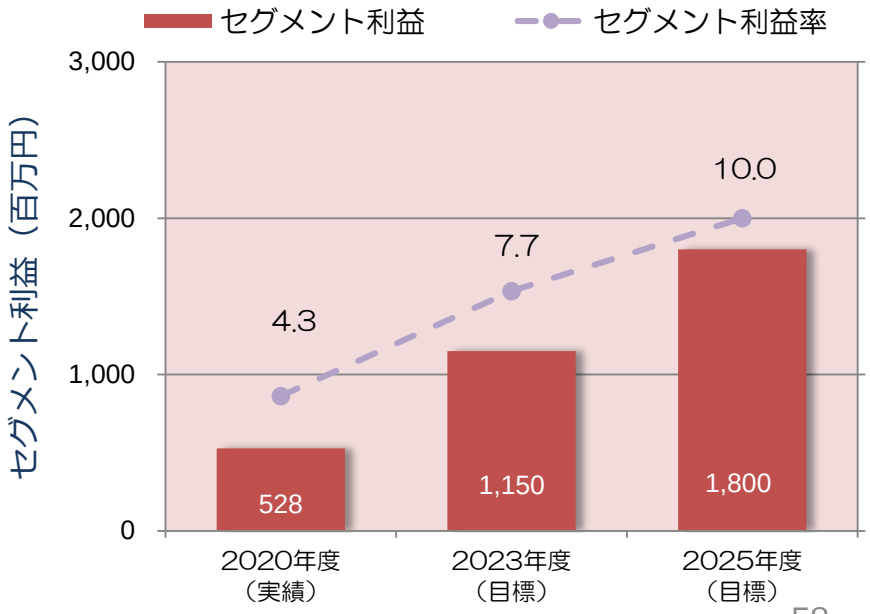
ファイン・エレクトロニクス事業

拡大・新規投資

■通信高速大容量化、自動車電動化をメインターゲットとして、市場ニーズに合わせて関係会社を含む関連事業間で素早く連携できる仕組みを確立

・海外の半導体用途および非フラックス洗浄用途での洗浄剤「パインアルファ」の拡大
・５Ｇスマートフォン用高周波ＦＰＣ市場での「ＰＩＡＤ」の拡大
・先端材料分野での拡販と新規テーマの獲得による「ファインケミカル製品」の拡大
・センサー市場を中心とした伸長分野での「電子材料用配合製品」の拡大
・ＨＤＤ、ＳＡＷデバイス市場での「精密研磨剤」のさらなる拡大





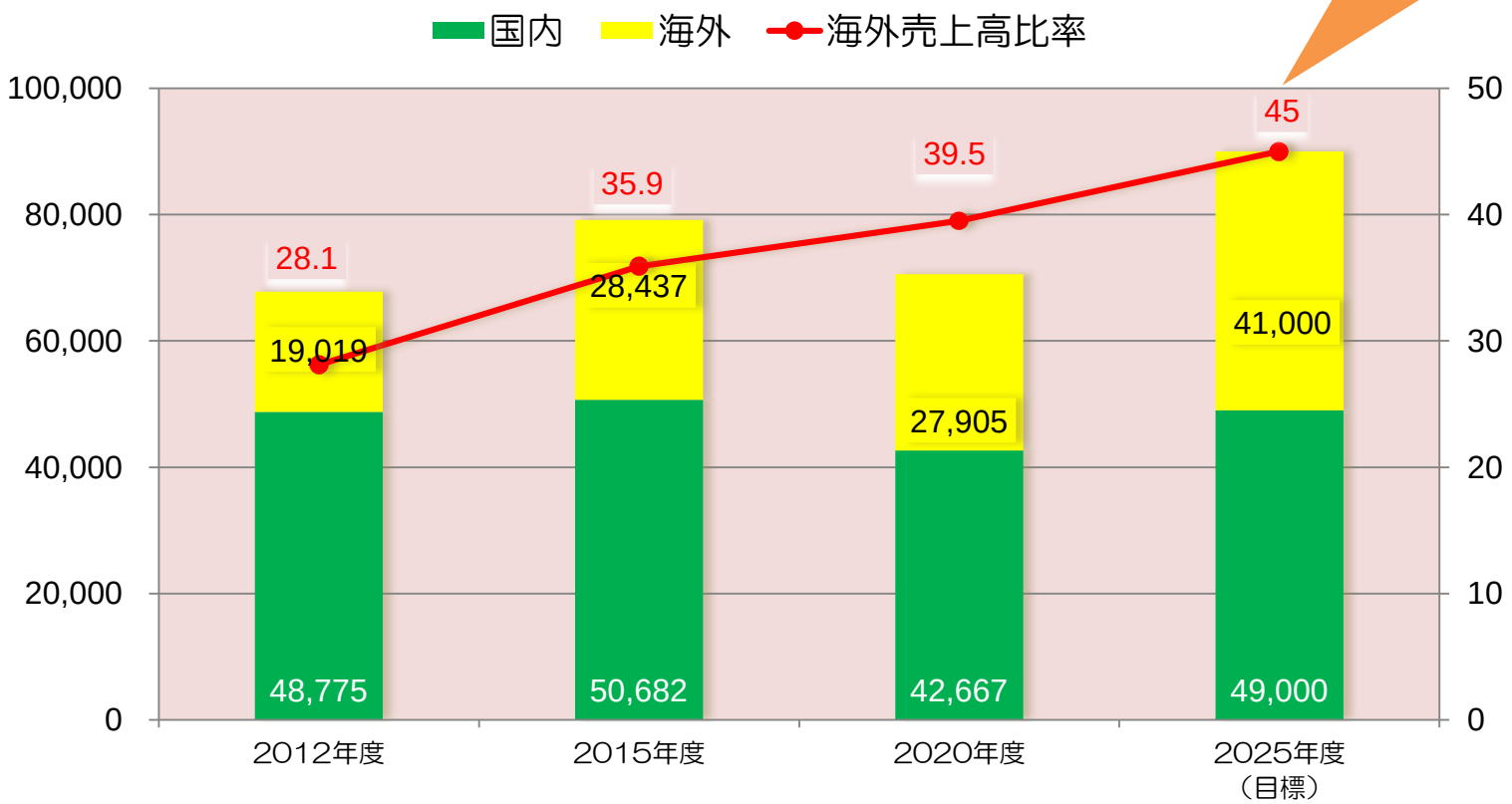
海外売上高伸長率

さらなるグローバル化を推進し、

２０２０年度比海外売上高伸長率50%以上を目指す

新拠点　約75億円

・千葉アルコン製造
・荒川ケミカルベトナム社



連結データ

	4次中計期間実績 （２０１６年度～２０２０年度）	５次中計期間 （２０２１年度～２０２５年度）	備考
総投資金額 （定常投資含む）	約３００億円（５年間累計）	約２５０億円（５年間累計）	生産能力増強 ・荒川ケミカルベトナム社 ・機能性コーティング剤 ・ファインケミカル事業 Ｍ＆Ａなど
減価償却費	約３０億円（最終年度）	約４８億円（最終年度）	-
ＲＯＥ	４.０％（最終年度）	７.０％以上（最終年度）	-
配当性向	30%を目途とする	40%を目標とする	成長戦略の実現による利益の拡大を通じた配当額の増加と、配当の「安定的、継続的、かつ積極的」な実施という両面を勘案して、配当性向40%を目標とする

SLBスキームイメージ

当社のマテリアリティに対応する取り組みとKIZUNA指標（KPI）からリスクと機会に対して重要な以下の2つを選定

KPI 1　CO_2排出量の削減（Scope 1、2）	KPI 2　サスティナビリティ製品の連結売上高指数

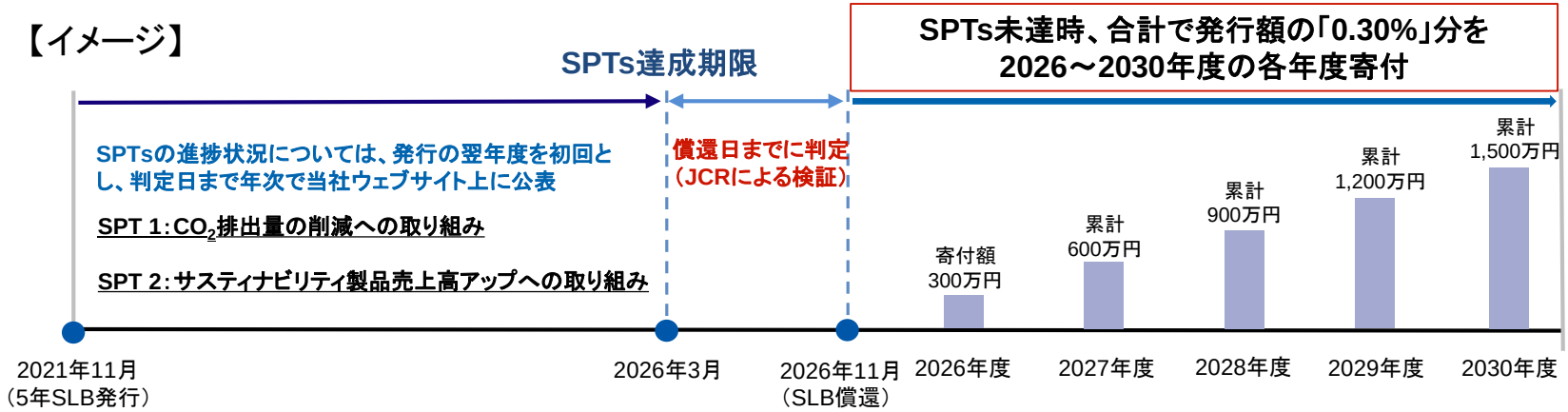
サステナビリティ・リンク・ボンドにおける発行条件と連動するSPTs

SPT 1	2025年度のCO2排出量を2015年度比30%削減
SPT 2	2025年度のサスティナビリティ製品の連結売上高指数を2019年度比25%以上アップ

※KPI（キー・パフォーマンス・インディケーター）　：　非財務情報に関する重要情報評価指標
※SPTs（サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット）：サステナビリティ・リンク・ボンドの発行条件を決定する発行体の経営戦略に基づく目標

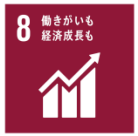
SPTs未達時　判定日において、SPTsの目標が達成できない場合、2026~2030年度の各年度寄付を実施。
合計で社債発行額の0.30%相当額の寄付をする。

【イメージ】



サスティナビリティ製品のSDGsへの貢献

サスティナビリティ製品と関連する主なSDGsおよび169のターゲット

SDGs目標	169のターゲットの主な項目
	8.8 移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、全ての労働者の権利を保護し、 **安全・安心な労働環境を促進する。**
	9.4 2030年までに、**資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じた**インフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。全ての国々は各国の能力に応じた取組を行う。
	12.2 2030年までに**天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用**を達成する。 12.4 2020年までに、合意された国際的な枠組みに従い、**製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質や全ての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減**する。 12.5 2030年までに、**廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。**
	13.3 **気候変動の緩和、適応、影響軽減**及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する。

メインの観点

サスティナビリティ製品の指標への影響度

カテゴリー	製品	影響度*1	野心度*2
社会インフラ課題貢献	光硬化型樹脂	中	↗
	低誘電ポリイミド樹脂	小	↗
	電池用材料	小	↗
環境負荷低減	紙力増強剤	大	↗
	湿潤紙力増強剤	小	↗
	水系インキ・塗料用樹脂	小	↗
	剥離紙用コーティング剤	小	↗
	精密部品洗浄剤	小	↗
天然資源活用	ロジン誘導体	中	↗
	超淡色ロジン	中	↗
	水系粘着・接着剤用樹脂	中	↗
	サイズ剤	中	↘
	ロジン系印刷インキ用樹脂	中	↘
	合成ゴム重合用乳化剤	中	→

*1　サスティナビリティ製品の売上高に占める割合、*2　2019年度比2025年度売上高増への貢献度

製品情報

低誘電ポリイミド樹脂（PIAD）

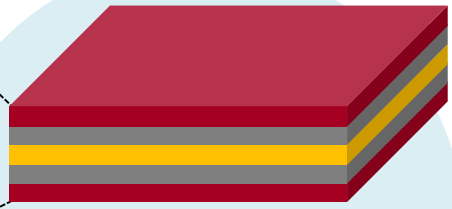
ファイン・エレクトロニクス

：サスティナビリティ製品

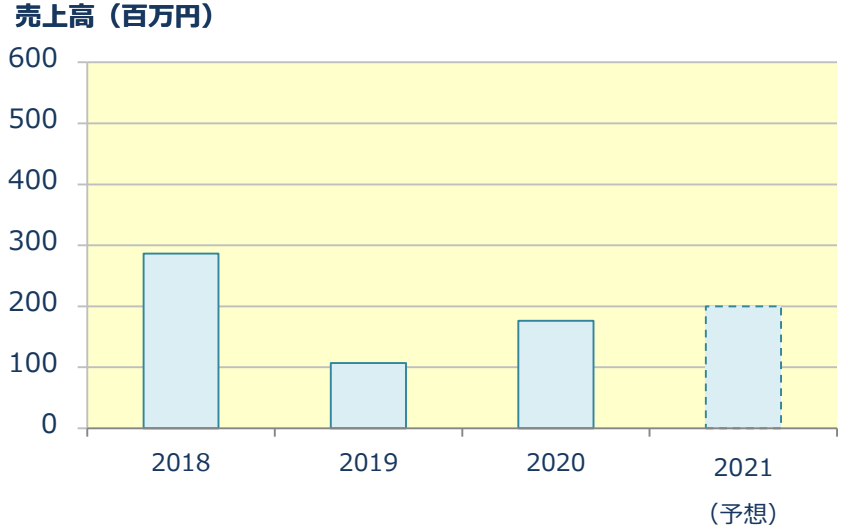
■低誘電、高耐熱、高接着性、柔軟性（**独自のポリマー重合技術**）に優れる高付加価値製品
■処理データの高速化、大容量化（高周波化）に伴う**電気信号の伝送損失を抑える**
⇒**次世代通信技術「5G」で使用されるミリ波に対応可能な**フレキシブル基板向け低誘電接着剤として注目される

PIAD 60-70% ＋ 架橋成分（エポキシ等）10-20% ＋ フィラー 添加剤等 20-30%

- PIAD → 複数グレード混合で物性向上
- 架橋成分 → 低分子・多官系が良好
- フィラー 添加剤等 → 難燃性付与等



■フレキシブル銅張積層板（上図イメージ）（Flexible Cupper Clad Laminate, *FCCL*）
■ボンディングシート、カバーレイなど



製品外観（液体）

架橋成分やフィラーなど配合し、熱硬化

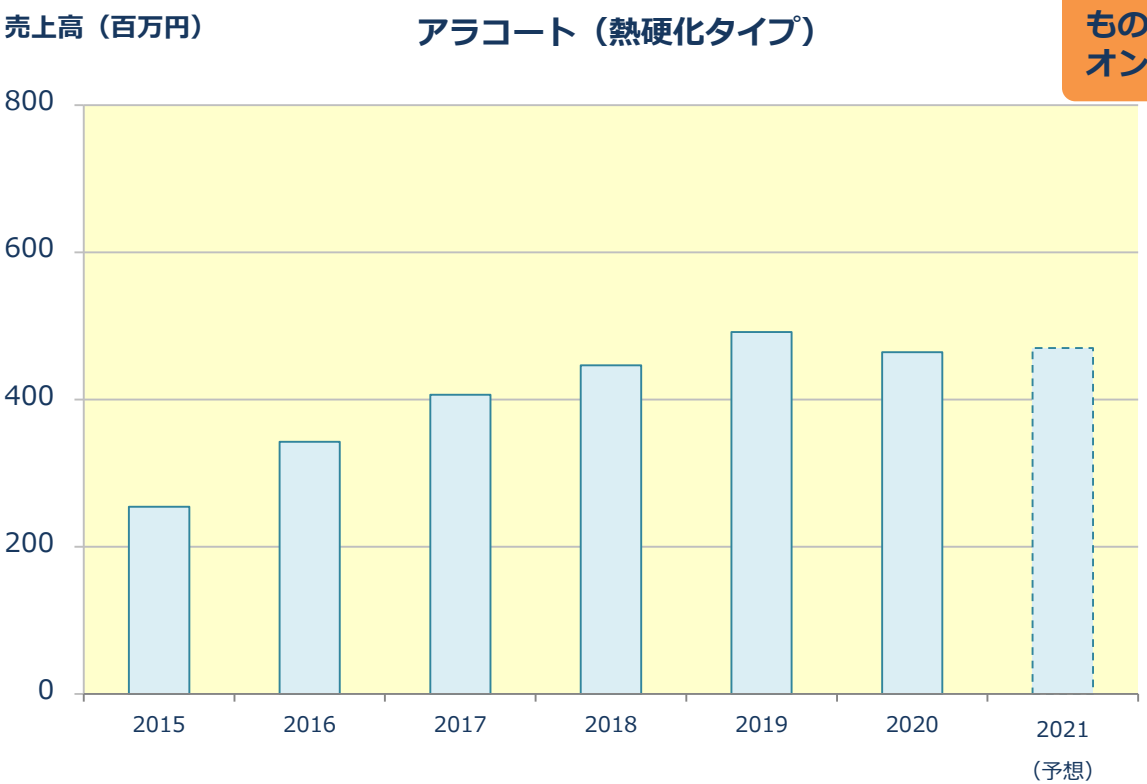
硬化後

熱硬化型樹脂

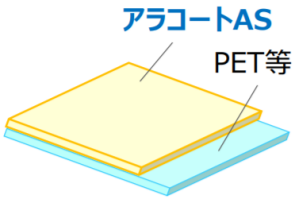
機能性コーティング

- 長年のインキ・塗料分野で培った高分子合成技術、二液硬化技術、配合技術を駆使して開発した熱硬化型機能性コーティング剤
- フィルムコーティングの**高機能化**に
- 「機能」を追求し、多様化するニーズに適した「解」を提案

ものづくりポータルサイト「イプロスものづくり」オンライン展示会にも掲載中



（層構成例）



- 帯電防止コーティング剤
- UVコーティング用アンカー剤
- 蒸着用アンカー剤
- 熱硬化型自己修復コーティング剤
- 離型コーティング剤

精密部品洗浄システム

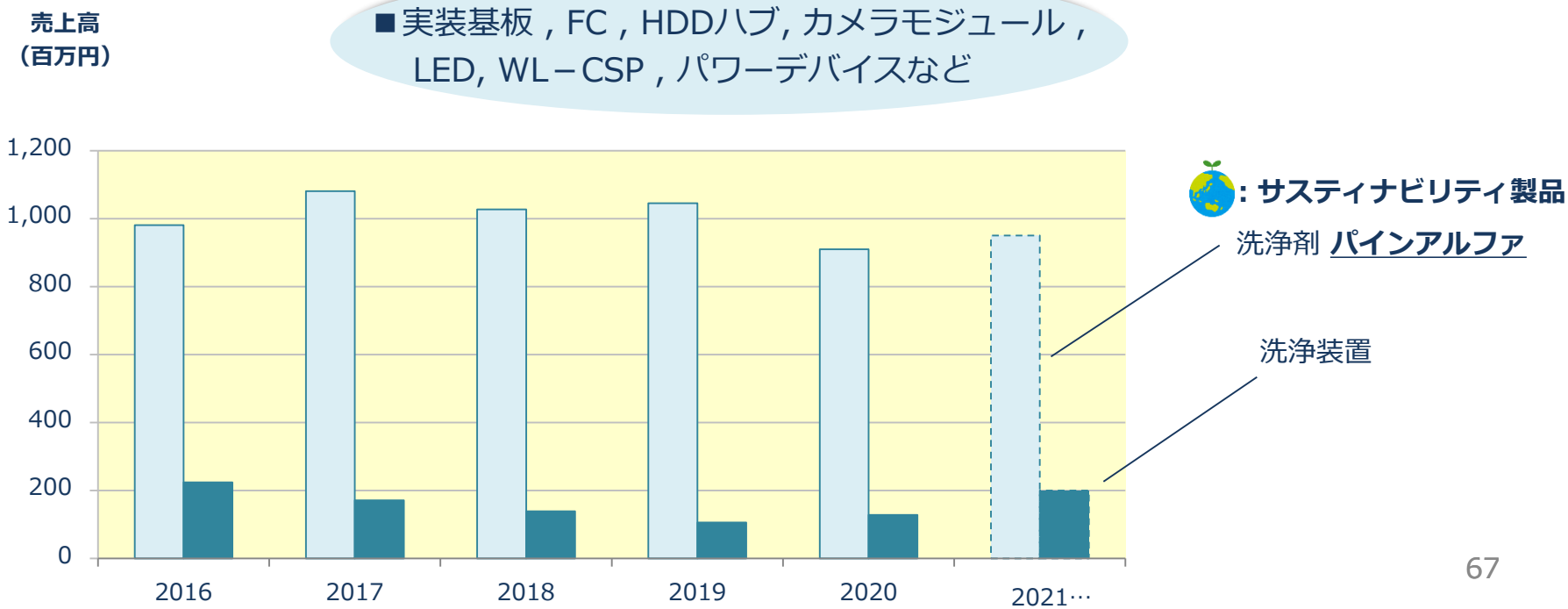
ファイン・エレクトロニクス

：サスティナビリティ製品

■2019年6月
中国販売子会社に洗浄実験室を有する東莞分公司を開設
⇒精密部品洗浄事業の中国国内でのニーズに対し、
営業体制の強化および迅速なソリューション体制の提供
■**廃水ゼロ**を目指した技術開発

洗浄実験室

■実装基板，FC，HDDハブ，カメラモジュール，
LED，WL－CSP，パワーデバイスなど

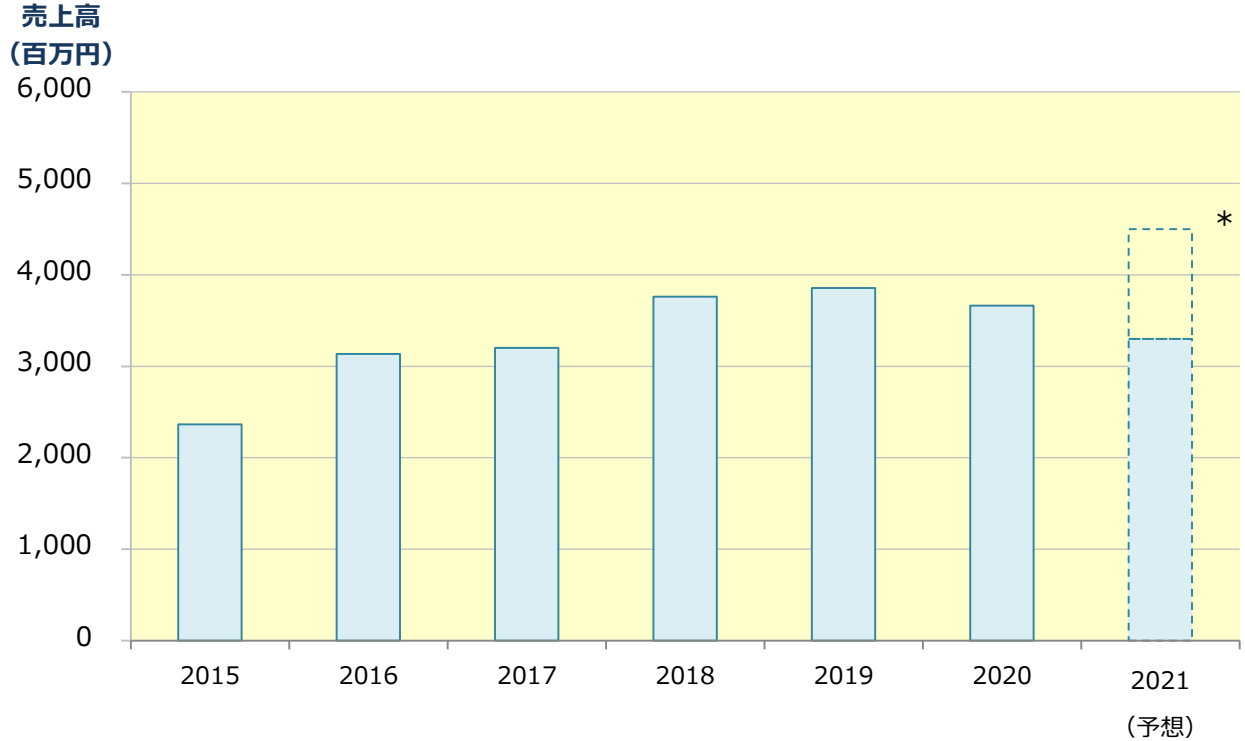


ファインケミカル製品

高圧化学工業

：一部サスティナビリティ製品あり

■ファインケミカル製品(中間素材)を**高度な品質管理体制下**で受託製造
■耐腐食性高圧反応設備（**ハステロイ製**）で高付加価値化
⇒アルカリから酸条件下の広範囲のｐＨ域での使用に対応でき、通常の材質では腐食を伴う反応でも生産が可能に



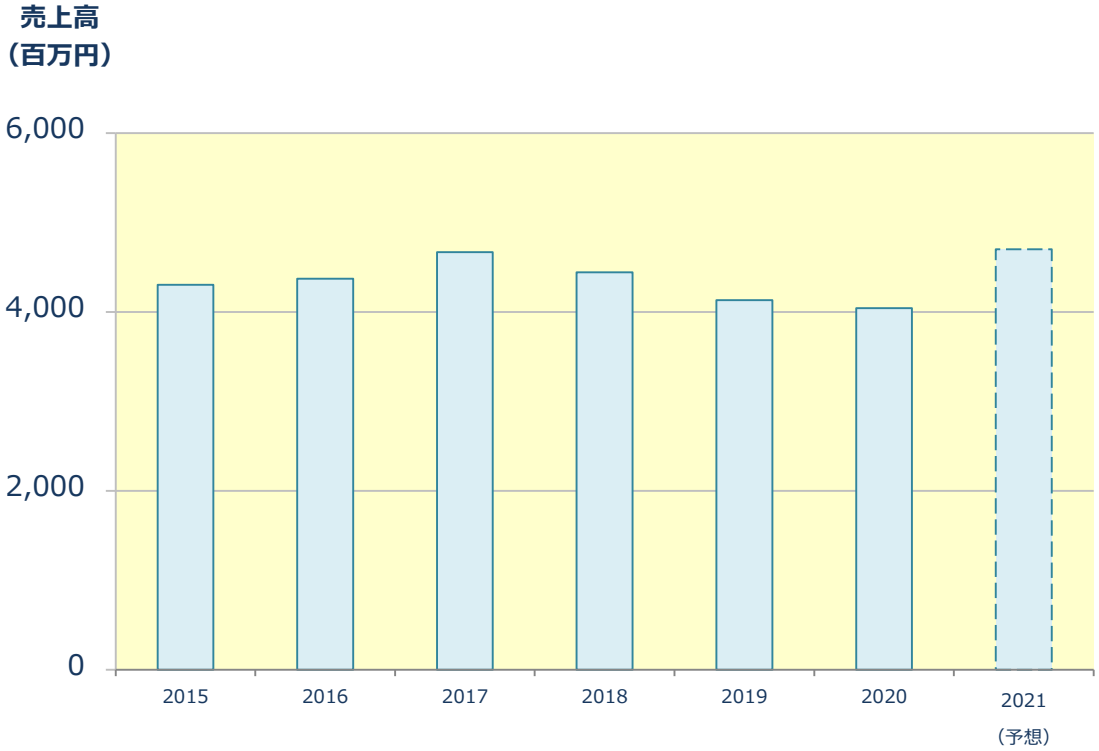
■電子材料用途
■医薬品用途

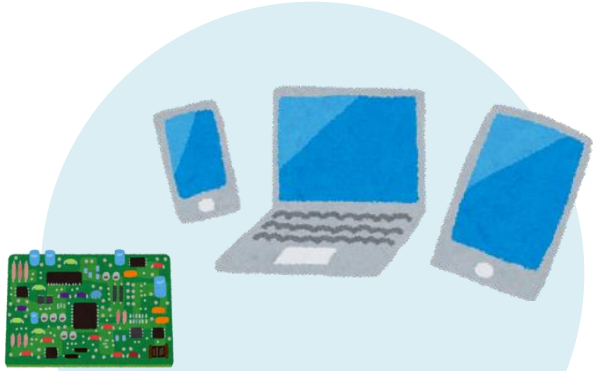
＊新収益基準の減少分

電子材料用配合製品

ペルノックス

■エポキシ樹脂、シリコーン樹脂などの樹脂と　フィラーの配合･分散技術に強み





■導電性材料（タッチパネル用銀ペースト）

■エポキシ樹脂製品

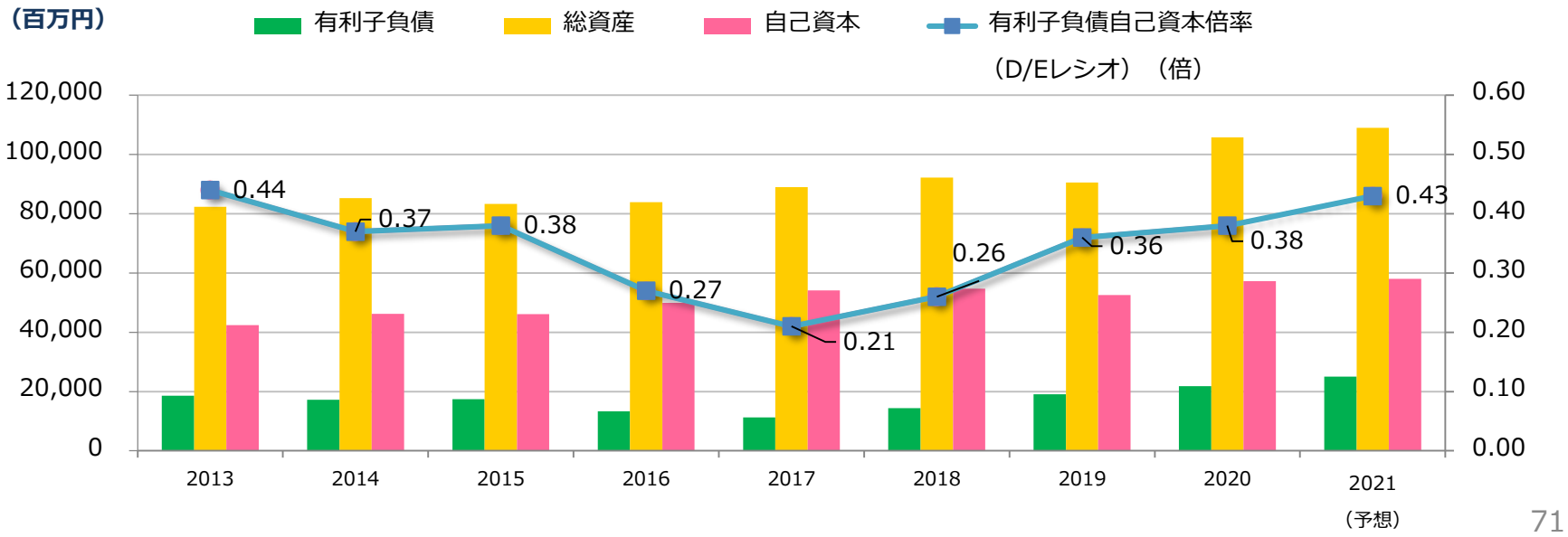
財務情報・その他

総資産・有利子負債推移

（百万円）

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021（予想）
有利子負債	18,605	17,275	17,426	13,300	11,269	14,349	19,045	21,789	25,000
総資産	82,342	85,245	83,380	83,898	89,019	92,174	90,600	105,757	109,000
自己資本	42,408	46,252	46,129	49,915	54,123	54,747	52,546	57,228	58,000
自己資本比率（%）	51.5	54.3	55.3	59.5	60.8	59.4	58.0	54.1	53.2
有利子負債自己資本倍率（D/Eレシオ）（倍）	0.44	0.37	0.38	0.27	0.21	0.26	0.36	0.38	0.43

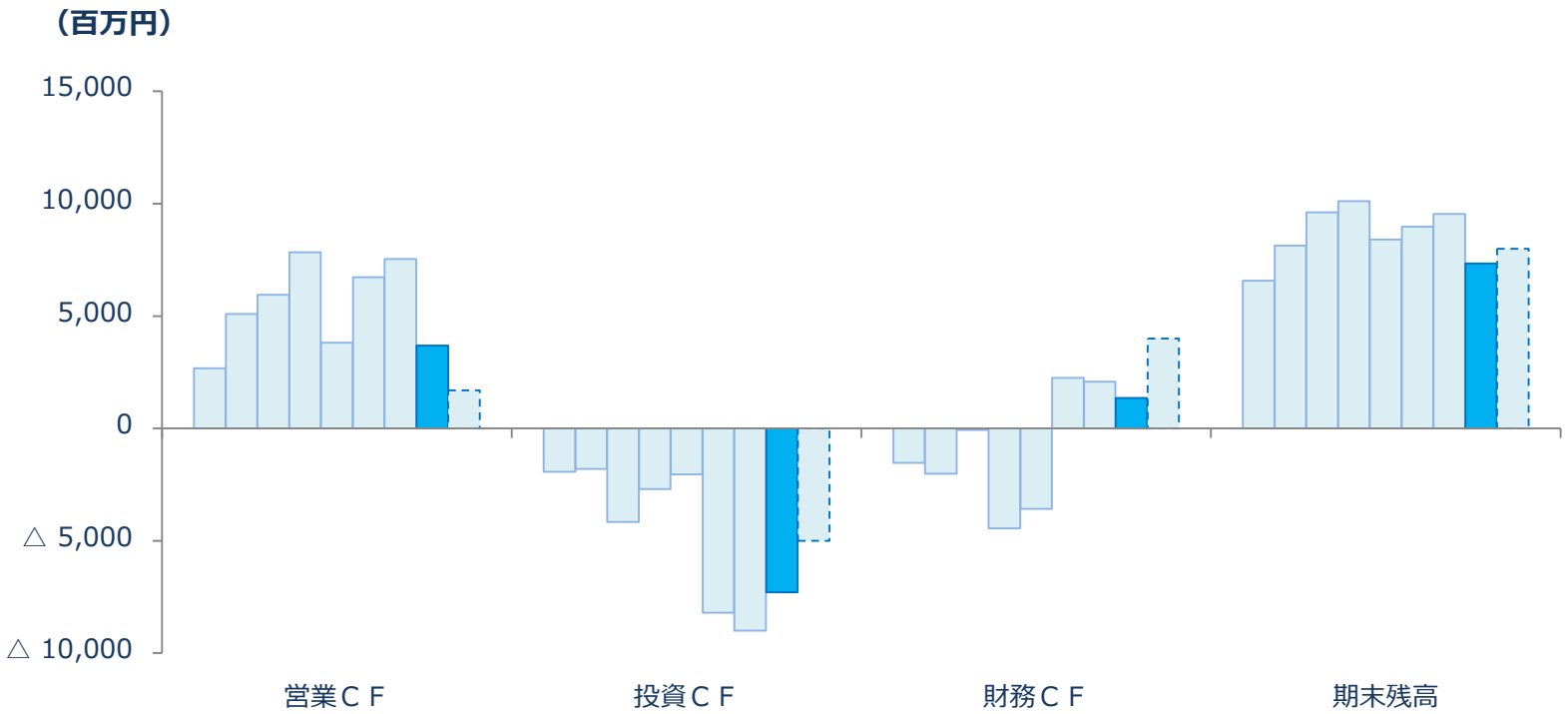
＊「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号　2018年２月16日）を2018年度の期首から適用しており、2017年度に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。



キャッシュフロー推移

（百万円）

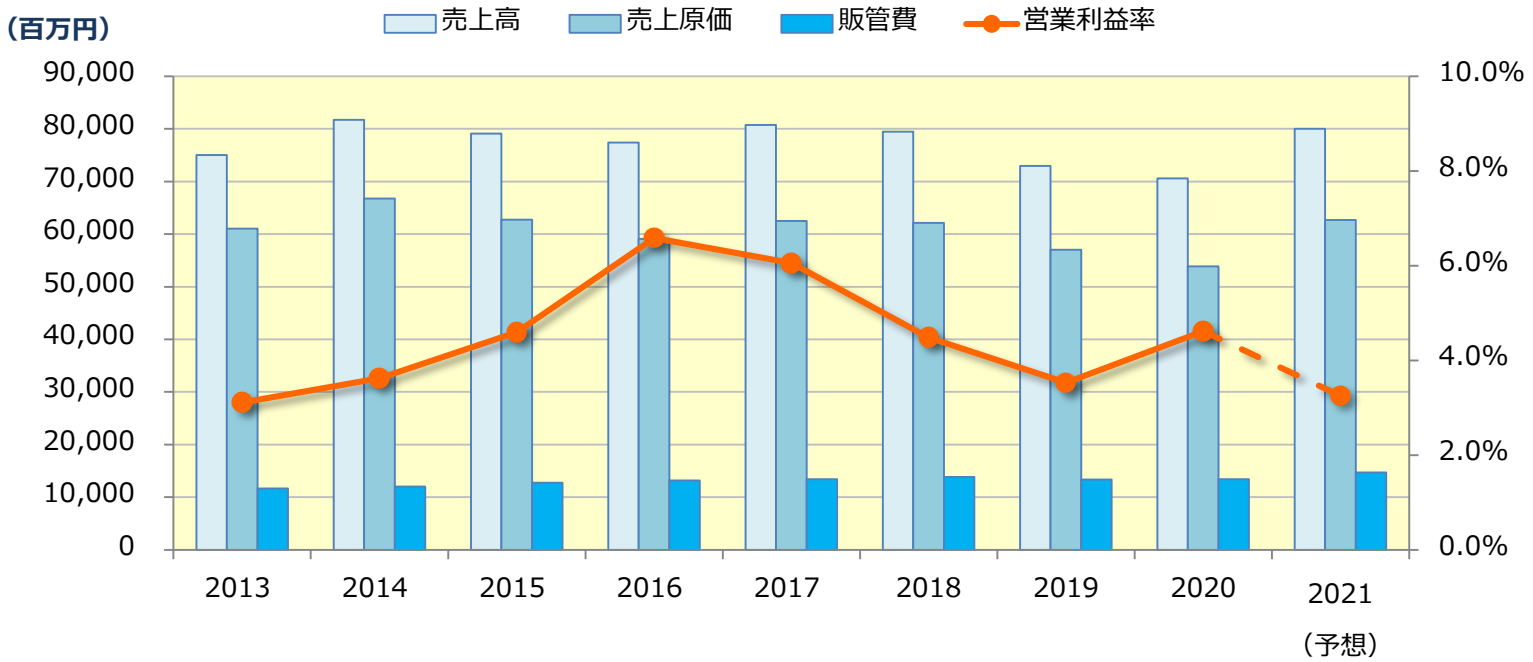
年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021（予想）
営業ＣＦ	2,671	5,094	5,941	7,843	3,808	6,728	7,534	3,685	1,700
投資ＣＦ	△ 1,926	△ 1,810	△ 4,163	△ 2,698	△ 2,048	△ 8,208	△ 9,001	△ 7,298	△ 5,000
財務ＣＦ	△ 1,538	△ 2,017	△ 75	△ 4,452	△ 3,586	2,243	2,084	1,354	4,000
期末残高	6,576	8,136	9,622	10,118	8,404	8,970	9,545	7,342	8,000



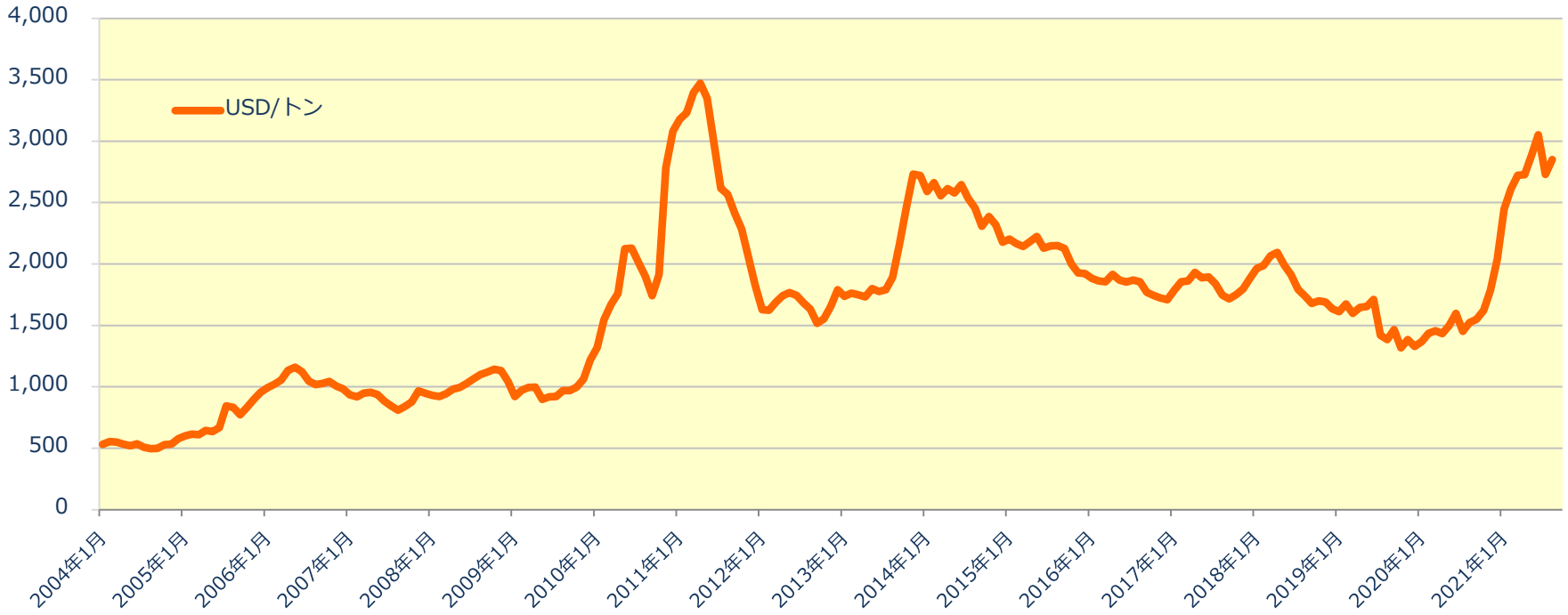
売上原価・販売管理費推移

（百万円）

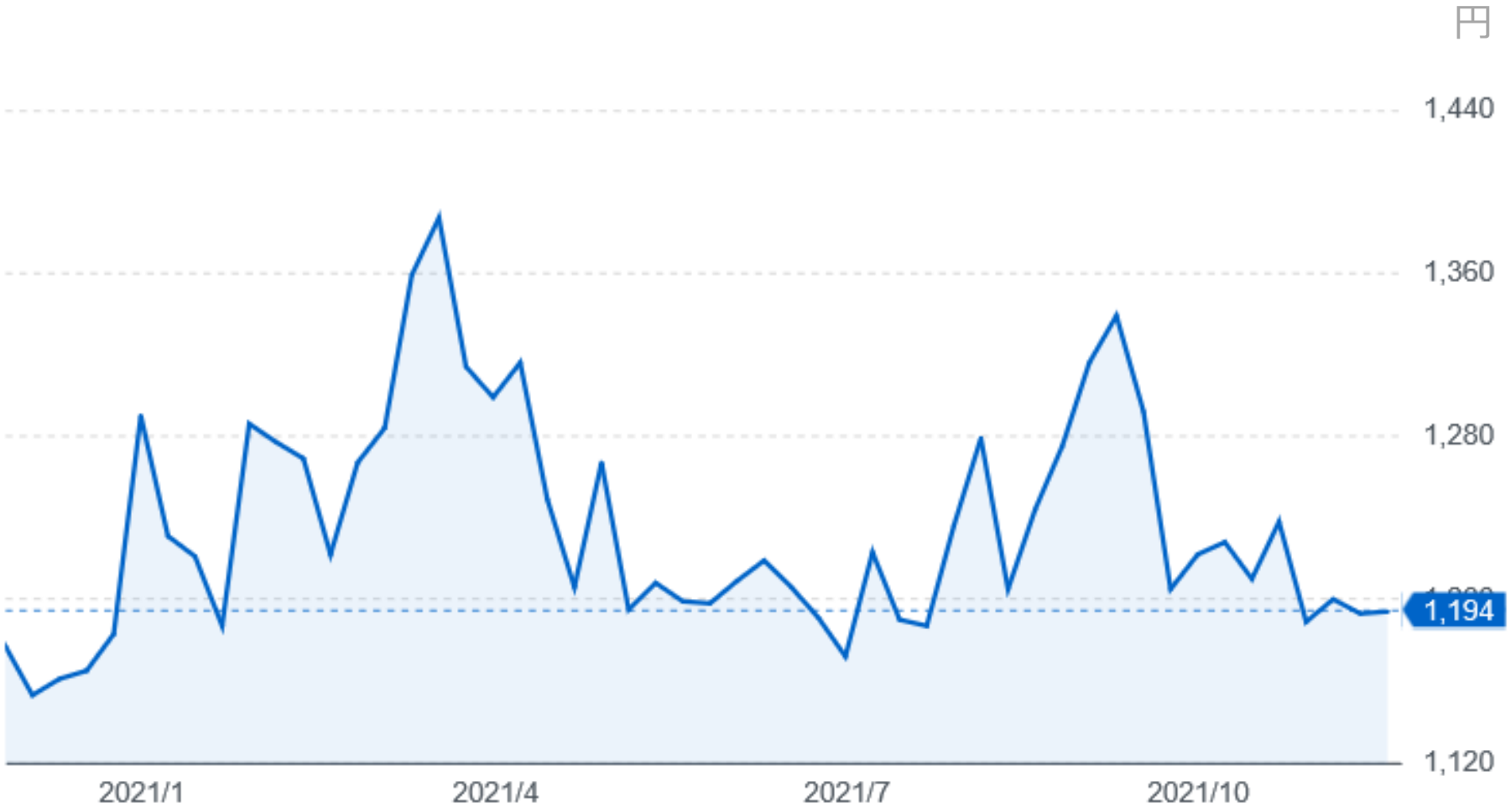
年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021（予想）
売上高	75,025	81,742	79,119	77,380	80,782	79,501	72,967	70,572	80,000
売上原価	61,028	66,777	62,757	59,111	62,478	62,123	57,014	53,884	62,700
販管費	11,662	12,004	12,722	13,173	13,410	13,813	13,378	13,431	14,700
営業利益	2,335	2,961	3,639	5,095	4,892	3,564	2,574	3,257	2,600
営業利益率	3.1%	3.6%	4.6%	6.6%	6.1%	4.5%	3.5%	4.6%	3.3%
売上原価率	81.3%	81.7%	79.3%	76.4%	77.3%	78.1%	78.1%	76.4%	78.4%
販管費率	15.5%	14.7%	16.1%	17.0%	16.6%	17.4%	18.4%	19.0%	18.4%



ロジン価格の推移


4,000
3,500
3,000
2,500
2,000
1,500
1,000
500
0
USD/トン
2004年1月
2005年1月
2006年1月
2007年1月
2008年1月
2009年1月
2010年1月
2011年1月
2012年1月
2013年1月
2014年1月
2015年1月
2016年1月
2017年1月
2018年1月
2019年1月
2020年1月
2021年1月

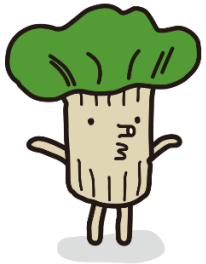
株価推移



株式情報

証券コード	4968
決算期	3月
上場取引所	東証1部
単元株	100 株
株価	1,194 円（2021年11月25日15：00時点）
最低所要金額	118,700 円
配当利回り	4.02%
PER	13.54 倍
PBR	0.40 倍
発行済株数	20,652,400 株（2021年3月末現在）
長期発行体格付	A－：安定的　（ＪＣＲ）

マツタロウ＆ロジーナについて



マツタロウ

普段は松林に住んでいるけど、松からとれるロジンが、姿を変えて街の中のいろんなところにあると知ってびっくり。こんなところにも役立っていたなんて！と発見が多くて、街で遊ぶことがますます楽しくなってきました。かくれんぼが好きだから、あなたの近くにも隠れているかもしれませんよ。

- 種類　松の妖精
- 種類　たぶん、男の子
- 種類　不明、でも子ども
- 趣味　たんけん、かくれんぼ
- 趣味　わんぱくで元気。よく、おとぼける

夢

1. 世界中を冒険しながら、世界中の松林でロジーナとかくれんぼすること。
2. 「マツタロウの森」を育て、大きくなった松林でみんなで遊ぶこと。

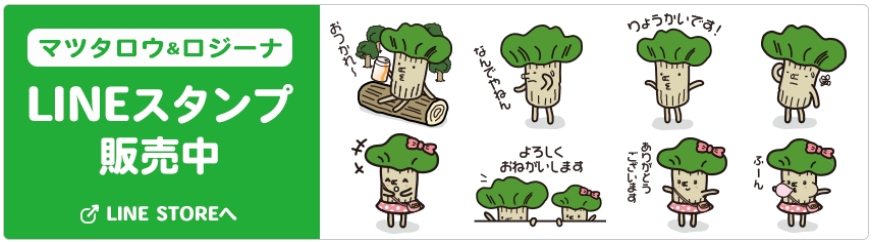
家で読書するのが趣味だけど、マツタロウにくっついていくと楽しくて、いろんな場所に行くうちに、いろんなことにワクワク、興味がいっぱい！ポシェットには街でみつけた宝もののほかに、チューイングガムとロジンのかけらを詰め込んでいます。今日もマツタロウとどこで何を発見するのかな？

ロジーナ

夢

1. 化学か歴史の先生になること。
2. 「マツタロウの森」の松から、キラキラロジンを発明すること。

- 種類　松の妖精
- 種類　たぶん、女の子
- 種類　不明、でもマツタロウの妹らしい
- 趣味　お菓子づくり、読書
- 趣味　しっかりもので勉強家。でも、ちょっと恥ずかしがり屋



MEMO